（年中無休刊）　大正七年四月五日　THE KEIJO NIPPO　第三千七百*十三號（一）

京城日報

四月四日夕刊（朝夕刊を併せて八頁）

○フォック將軍歡迎

聯合國作戰の不統一を除去す

デーリーエキスプレス曰く『吾人は衷心よりフォック將軍の任命を歡迎す將軍既往の經歷を見るに最大の艱難に當りて果斷あり一度決定するや敢て動かず且つ變に應ずるの奇才ありヘーグ元帥及び英軍は滿幅の信認を以て將軍の命に從ふを疑はず尙フォック將軍の指揮權が英米兩軍に及びたるは從來の聯合國作戰の不統一に陷るの缺點を除去したるものと認めらる』（倫敦特報）

○獨軍又復巴里砲擊

四月一日又復獨軍巴里を砲擊し死者四名負傷者九名を出せるが同砲彈は砲四門を以て是れを行ひ各砲彈は重量四分の一噸にて火藥も各四分の一噸を要したるものと信ぜらる（巴里電報）

○モリユール附近の激戰

英軍公報に曰く三十一日モリユール附近に激戰あり英佛軍協力敵軍を擊退せり（倫敦電報）

○英軍逆襲砲銃鹵獲

ヘーグ元帥公報＝獨軍はグランルース及びアーブルの流域に攻擊を試み若干の進出を爲せり英軍はセル河に沿ひ逆襲を行ひ百九門の機關砲を鹵獲せり（桑港電報）

○獨軍の新占領地

三月二十七日獨公報に依れば獨軍は追擊續行二十六日夕迄にアルベール、ロワイユ、ノワイヨンを占領せりと（ベルン電報）

○獨逸新聞の戰局評

伯林各新聞は何れも獨軍の大勝利を書き立て三年半の陣地戰は三月二十三日迄の突破にて遂に運動戰に移れりと報じヴォルフ通信は英軍の狼狽、混亂、敗走の狀況を報記しこれ昨年の伊太利の大敗も同樣なりと批評せり（ベルン電報）

○羅馬法王對獨抗議

羅馬法王は巴里に於ける教會の破壞人民の虐殺に對し伯林政府に抗議を申込みたり（羅馬電報）

○敵機滿洲里附近へ

形勢不穩＝鮑督軍の打電

滿洲里の西方十五支那里の地點に一臺の獨逸飛行機飛來し不穩の形勢を呈せり依つて黑龍江督軍鮑貴卿氏は飛行機數臺を送られたしと北京政府に打電せり（齊々哈爾電報）

○獨逸俘虜歸化審議

西伯利にある獨逸俘虜五百九十名は露國に歸化を申出で目下イルクツク勞兵會にて許否の審議中なりと（莫斯科電報）

○武裝俘虜チタ通過

武裝俘虜を乘せたる六個列車一日チタ通過カイルムスク方面に向へる旨領事館に著電せるが右はセミヨノフ軍に對抗の爲めならんと（哈爾賓特電）

○四十億弗募債可決

米國下院は滿場一致にて四十億弗の募債案を可決せり（華盛頓電報）

○米國肉類工場徵發

米國政府は近々全國內の肉類工場を徵發し之を管理すべしと（華盛頓電報）

○伏見宮邸晩餐會

伏見宮殿下には四日午後七時本邦駐箚各國大公使並に文武大官を紀尾井町御本邸に招待あらせられ晩餐會を催されたり（東京特電）

○石井大使出發

新任駐米大使石井菊次郎子は夫人同伴四日午前九時十五分東京驛發列車にて出發正午橫濱解纜の西伯利丸にて赴任の途に上りたるが東京驛にて米國大使英國大使夫人支那公使夫妻寺內首相其他數百名の見送りありたり（東京特電）

○ペリー博士釜著

ペリー博士一行四名は四日朝來釜市內を視察し一泊の上五日朝著の牧野博士と同行北行の筈（釜山特電）

○古城齊氏退職

滿鐵總務部勤務古城齊氏は二日附を以て滿鐵職員を免ぜられたり（大連特電）

◎昌德宮午餐會

四日は李王殿下の御誕辰に相當するを以て午後十二時半より昌德宮內に於て午餐會開催長谷川總督は松川軍司令官、古海警務總長、各部長官、高橋釜屋附武官、齋藤大島兩副官、秘書官を帶同出席せり

◎地理資料調査

土地調査局の新計畫

臨時土地調査局にて土地調査の結果により朝鮮地理資料の調査をなす事となりし旨は既報を經しが客月行委員會は和田總務課長を委員長とし局內各課長各課の關係高等官を委員に又判任官を助手とし組織し既に事務に取り掛り客月末までに調査事項を決定せしに付今後漸次調査の進捗を圖るべしと

◎土地調査局減員

臨時土地調査局技術課の管掌する地形測量外業三月末限りに終了

◎露國行郵便

浦鹽行郵便物は敦賀郵便局より普通通常郵便物をのみ浦鹽露國郵便局に送附し同局に於て受取らざる時は送達す機宜の方法を執るべし

◎年度末の郵貯

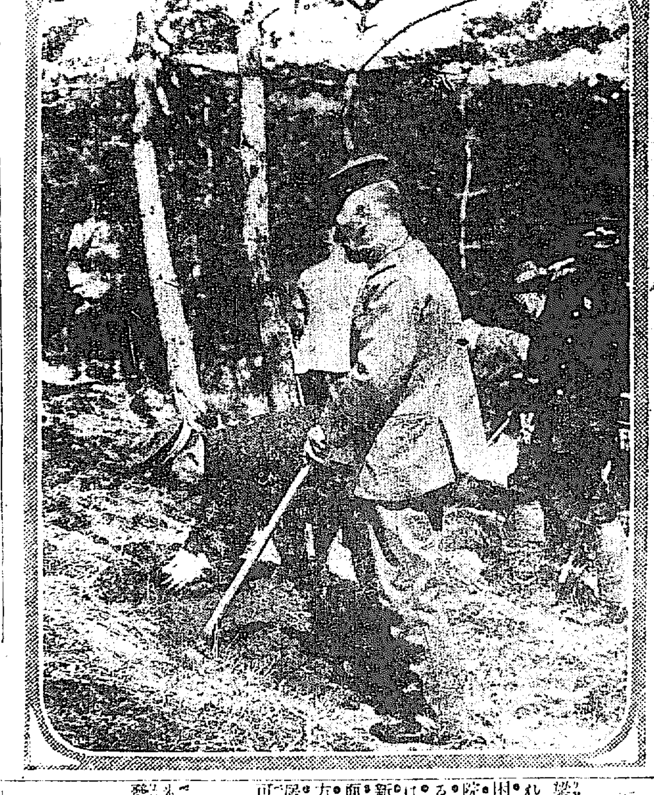
三月三十一日に於ける年度末の朝鮮郵便貯金は物價騰貴に伴ふ俸給生活者の生活難等の理由に基づくと見ね之れを二月末に比し殆んど增加なく人員百二十萬人金額一千百五十萬圓に過ぎざりしと

◎郵貯利子計算

遞信局爲替貯金管理所に於ては四月一日より大正六年度中に於ける郵便貯金の利子計算に著手したり尙ほ該計算は口數百數十萬預金高一千萬圓の多額に達し居れるため五月中旬に至らざれば終了せざるべきが利子見込額約十萬圓に上るべしと

◎京城圖書館計畫

京城圖書館の設立は屢々之が計畫を試みる者ありしも其經費を國費に仰ぎ難く然ればとて府事業とするも到底其の負擔に堪へ難きを以て從來其實現を見る能はざりしが教育に熱心なる長谷川總督は頗る之を遺憾とし何等かの方法に依り設立したしとて某長官に內命して設計調査中の處恰も好し從來公共事業の爲めに私財を投じ貢獻する處尠からざりし知名の實業家某氏に於ても同樣の計畫ありしを以て過般來同氏との間に數次の交涉を重ね大體設立の目途立ち近く發表さるべしと



長谷川總督の記念植樹 ―[illegible]園にて―

◎東拓記念植樹

東拓京城支店にては三日午前十一時京義線水色驛附近の山野に記念植樹を行なひたるが參加人員東拓社員百四十名附近の東拓移民並に農民を合せ約二百名にして落葉松を主とし約一萬二千本を植栽したり尙ほ午後は運動會をなし五時十分南大門驛著列車にて歸京せり

◎滯貨減ぜず

前週に比し一千噸增加

滿鐵京城管理局調査に係る三月三十一日現在局線內の滯貨は本州行き二萬九千七百八十九噸九州行き五千五百卅六噸にして之れ前週に比し約一千噸の增加を告げ居れり又滯貨の內譯は左の如きが十二月中に申込みの物乃ち五ケ月の久しきに亙れるもの二千七百噸の多きに達し居る譯なり

▲滯貨內譯

申込別	本州行き	九州行き
十二月中申込のもの	二、六四六	四〇
一月中	一〇、六四四	四六七
二月中	七、四三五	二、二五三
三月中	四、四九九	一、五八四
計	二五、二二四	四、三四六
釜山積替滯貨	三、六九一	七四
輸送中のもの	八七四	四四七
合計	二九、七八九	五、五三六

滯貨の漸增は申込みの增加に基因すと云ふより客月十六日釜山發限り關釜間臨時貨物船御嶽丸が廢航せしためなるべく從つて目下の關釜聯絡輸送力は定期船二、六便のみ一日平均約六百噸に減退し居れり但し臨時貨物船の廻航に就ては當局にて切りに斡旋中なれば四月上旬頃より再び御嶽丸就航するに至るべく爾後運貨力は若干の增大を見るに至らんと

▲安藤課長談　滯貨の現狀に付安藤運輸課長は語る、同線內の滯貨は減じない、荷主が釜山より船便でドシ〳〵積出す事にすれば恐らく三萬噸以上にも滯貨が殖ゆる事はないのであるが、いつも鐵道の連絡で山陽線經由送るのは釜山から商船朝郵並に京管運賃の澤山商會に依賴するより運賃がぐつと安いから少々遲れても荷主は外の輸送系統による事を好まないらしいつまり運賃の差の方が積送が遲れ金利をとられ荷痛みを出すより多いのである、コレ朝鮮滯貨のズン〳〵減て行かぬ理由だ

◎鮮銀券發行週報

三月二十四日より三十日に至る一週間の鮮銀券發行平均高は六千三百十萬七千九百二十九圓にして內正貨準備發行平均高は二千三百六十三萬八千二百七十九圓保證準備發行平均高は三千九百四十六萬九千六百五十圓となり限外發行九百四十六萬九千六百四十圓を示せり

○南北兩派調停推測

梁士詒氏不日調停交涉開始

梁士詒氏は未だ何等南北調停に關する具體的成案を提示せざるも彼れが馮總統其他に語れる談話を綜合して推測するに最も困難なりと認めらるゝ國會問題に關しては北方派の主張する現臨時參議院の修正の外天津に國會を召集する事は到底南方派の首肯せざる處なるべくさりとて南方派の主張する如く舊國會を復活せんとするも從來の關係上北方派は飽迄反對すべく寧ろ新議員を以て組織する新國會を組織すべく[illegible]其他の有力者も首肯し居るが如し猶梁氏は六日天津に遡り南方派との間に交涉を開始すべし（北京特電）

○船鐵交換協定發表

米國戰時通商局は日米間船鐵交換は愈々左の條件にて協定成れる旨發表せり

引渡期限は本年五月より九月迄とす、但し右期間前に引渡す場合に於ては割增金を附する條件の下に日本は米國に十二隻十萬噸の船舶貸用を承諾し米國は之れに對し船一噸に對し鋼一噸の割合を以て日本造船業者に對し同額の鋼鐵を供給すべし（華盛頓電報）

◎管理所の雇員採用

遞信局爲替貯金管理所にては內地人雇員若干名を採用する事となりしが希望者は同局に出頭承合すべし

◎有賀理事來鮮期

三井合名會社理事有賀長文氏は支那滿洲朝鮮視察のため三月二十八日東京發三十日門司より上海に直行の漢口北京天津濟南青島大連奉天長春哈爾賓吉林を經て四月二十六日入鮮二十七日平南价川鑛山を視察し二十八日金郊附近に於ける植林を視察し同日午後七時二十五分南大門驛著入京廿九三十兩日間滯京の豫定なりと

◎秋月子出發

二日夜入京したる貴族院議員子爵秋月種英氏は三日元山に向ひたり

◎聯絡會議出席團

東京に於て開催せらるべき日支聯絡會議に支那側委員京漢鐵道運輸課長王鴻年氏外六名は四日朝入京朝鮮ホテルに一泊の上五日出發の筈なるが右一行は四日午前滿鐵京城管理局を訪問午後昌德宮其他を觀覽せり

◎阿部氏送別會

鮮銀司事阿部讓氏は倫敦出張を命ぜられ六日出發東上の筈に付鮮銀有志は五日花月に同氏祖道の宴を張る由

◎大田理事歸連

滿洲總支配人大田三郎氏は五日朝若くば夜南大門驛發列車にて歸連する由

◎高野店長歸京

三井物產京城支店長高野省三氏は店務を帶び大阪に出張中の所二日朝歸京す

◎支那文藝講演

總督府囑託今關天彭氏は四日午後七時半より京城俱樂部に於て支那文藝十講の內第九講「支那人の內的生活」に就て講演を爲すべし

◎東亞蠶絲假事務所開設

既報京城に本社を設ける東亞蠶絲株式會社京城支店は過般總督府技師を辭し同社取締役に就任したる三田伊三郎氏支店長として去一日來京し驛前に假事務所を開設せり

◎淺見氏小田原假寓

先頃辭職歸京せる前高等法院判事淺見倫太郎氏は神奈川縣小田原十字町に假寓中

◎群山

▲各學校始業　群山に於ける公立尋常高等小學校公立普通學校公立實業學校私立幼稚園は四月一日始業式を舉行したり▲晝間動力　群山電氣株式會社にては既報の如く晝間電動力供給を開始すべく準備中なりしが既に設備整ひ需要者三井物產群山出張所の經營に係る精米工場動力機整備の竣成を日中に完成するを俟つて直に送電動力供給を開始すべしと▲輸出商來群　廣島市商業會議所書記長細井勝太郎氏同伴にて同市有力なる輸出商三四名滿鮮視察の途二十九日來群當地商業會議所其他に就き輸入品販路狀況に關する調査を遂げ三十日木浦に向ひたり

◎大田

▲實業會理事會　大田實業會理事會は二日午後七時より事務所に於て開會大正七年度豫算編成の件、春季店員慰勞會の件、總會開會の件、本會總會の件、物取引法研究の件大田開市十五周年記念會開催の件等を附議せり▲品評會協議會　本秋大田に於て忠淸南道主催重要物產品評會開催の件に付大田郡廳に於て五日午後一時より重なる官民有志を招致し協議會を開くべしと▲新任訓導著任　大田尋常高等小學校にては新學年度より訓導二名增員の豫定なりしが今般京城中學校臨時教員養成所を卒業したる榊原精三、田川孝雄の兩氏二日著任せり▲新校舍落成　大田尋常高等小學校の四教室は豫て新增築工事中なりし處此程落成したるを以て二日より移轉教授を開始せり▲大田校入學式　四月一日午前九時より舉行本年度の入學兒童は男生六十一名女生五十九名合計百二十九名なるが猶多少の增加は免れざるべしと▲幼稚園入園式　東本願寺內の大田幼稚園は四日午前九時より入園式を舉行する筈なるが本年も多數の入園あるべしと

人事消息

▲取消　二日夕刊所載京城中學校教諭任命の件は之を取消す

▲淺野少將（總督附武官）　三日午前元山へ

▲ダーム氏（鐵道技師）　三日平壤へ

▲木村雄次郎氏（三菱製鐵所長）　三日退京

▲多木金藏氏（營林廠庶務課長）　三日午後大邱浦項へ

▲高野九太郎氏　三日福岡へ

▲岡枝博氏（總督府技師）　二日附を以て大邱醫院敷地取調の爲め大邱へ出張を命ぜらる

▲成田穰理氏（遞信技師）　二日附を以て電氣事業監督及電氣計器檢定事務取調の爲め東京に出張を命ぜらる

▲永谷千萬吉氏（平壤鑛業所長）　四日入京浦尾

▲石島數世氏（陸軍大尉）　上京中の處二日夜歸京

東京より　在京　一記者

世界大戰の關ケ原（中）　第一戰の結果

○獨軍の攻勢運動は、聯合軍の固より豫期しつゝありし所にして、之に對する準備も亦遺算無かる可き筈なりし也。隨つて英軍の其の陣地を退却するに至りたるも同じく豫期したる所にして、肯て驚くに足らずと雖も、獨逸が既に東部戰線より六十萬以上の精鋭を西部戰線に轉送し、英軍五十哩の戰線に對して九十七箇師團の大兵と一千門の大砲とを集中し、獨帝親ら指揮の任に當りたりと云へば、其の全力を傾注せる攻勢運動たる、固より論を俟たず。而かも其の第一戰は、輕々しく勝敗の全結果如何を斷する能はずと雖も、此の第一戰のみの結果に就て、吾人の最も注意せざる可からざるは、獨軍が豫期以上に優勢にして、英軍が豫期以上に劣勢なりし事、即ち是れ也。○獨軍が英軍の第一防禦陣地を完全に占領したるや否やは未だ明かならずと雖も、英軍退却の情報に案ずれば、第一防禦陣地の維持は極めて困難なりしを推知するに足るものあり。左れど第二防禦陣地に至りては、第一防禦陣地以上の各數線の塹壕を構築し、最善の防禦設備を施しつゝありと云ふにて、獨軍が果して能く第二防禦陣地を占領するに足るの攻擊力を繼續し得べきや否や。是れ實に疑問中の疑問とせざる可からず。露國が獨逸に屈服し、ウクライナ地方の富源、獨逸の掌握に歸したる以上、獨逸は戰略上、兵站給上、何等後顧の虞無きの力を西部戰線に傾注し、其の攻勢を繼續するを得べしとせば、聯合軍の前途、決して樂觀を許す能はざるもの無しとせず。○『タイムス』が此の戰爭の趨勢を評して『敵は新鋭の師團を集中しつゝあるを以て、此等の精力が疲弊する迄には、今後尙ほ或る程度の成功を收むるならむ』と云ひ『吾人は今や英獨兩國間の死の決鬪を目擊しつゝあるもの也。我が將卒は傳統的なる不撓不屈の精神に由て鼓舞せられつゝあり。吾人は確信を以て彼等が勇の結果を待つものなり』と云へるは、吾人も同一見解にして、吾人は英軍の奮鬪健戰を祈らざるを得ずと雖も、萬一、英軍の第二防禦陣地にして一たび崩潰の端を啓かむ乎、戰線の大勢に影響する所、決して尠少ならず。結局、聯合軍全局の勝敗如何に關すること無きを保せず。吾人は、此際、佛軍が勇果敢の精神を鼓舞して、攻擊的防禦の手段を執り、英軍と相應じて獨軍を牽制せむことを熱望せざる能はずと雖も、若し佛軍が守勢より攻勢に轉ずるの餘力あるや否やに至りては是亦吾人の疑問とせざるを得ざる所也。

十一月一日現行

春空に響く鍬の音
總督府の記念植樹
長谷川總督は櫟を植栽
松青く水清らかな懿寧園の賑ひ 藥水を中心に忽ち出來る苗の林

三日打ち續いた陰鬱な空模樣は一夜の中にカラリと晴れて三日の神武天皇祭は朝からの好天氣、擲ひ取りたいやうな空の色暖かい日の影に

◇春風春水 一時に迫り長閑な氣分が漂ふた、この日は恰も恒例の記念植樹日、總督府では午前十時から阿峴の林業試驗地構内懿寧園に於て記念植樹を擧行した、林業試驗地は西小門外阿峴巡査派出所から約四五丁の處にある滴るやうな松の丘清冽な水の流れ構内には

青疊を敷いた やうな苗圃もあれば梧桐白樺朝鮮栗など種んな樹木の林もある、天然の野趣に人工の美を加へて却々の風光一歩構内に踏み込むと何んとなく空氣からが異つて居るやうに思はれる、總督府では前日から何彼と準備に

◇忙殺され たが愈々三日になるとお誂へ向きの植樹日和なので一層調子付き、要所々々に案内者を配置するやら受付休憩所器具配付所を設けるやら、瞬く間に一切の準備を整へて待つ、斯くて定刻近くなると本府を首め所屬官署(京畿道、京城府廳は別)の職員來賓が踵を接して

ドシ〳〵參集 天幕張りの休憩所は忽ちコレ等の人々を以つて埋まつた、來賓の中には朝鮮貴族や各部長官、局長方の夫人令孃の顔も澤山見ゐる、長谷川總督は正十時と云ふに國分司法部長官、小原農商工部長官、釜屋武官、副官、秘書官など帶同到著した、之を機會に愈々記念植樹の序幕は切つて落され、總督以下何れも柄も通れと鍬を揮つて植に取り懸る、場所は懿寧園の藥水を中心として赤松斑らな丘の麓土を掘る音、掘り上げる度にキラリと

光る鍬の先端 ヨイショ〳〵の懸け聲と共に入り交じる金線帽影暫くは賑やかな光景が續いたが夫れも束の間、總て三尺位の間隔に苗木の林が出來上つた頃には、誰も彼も玉なす汗、總督は藥水の前を左に登つた丘の上に松を植ゑた、婦人方はと見ると之は又優にやさしく土掘る音も

◇愼しやか 立派なお召物の汚れるのもお構ひなしに『一間離は此位で好んですか』『土をかけたら一寸苗木を引き上げるんですね』などゝ係員に訊ねて居る、植樹の種類は櫟、榛、櫻、松などで正午迄に約二百餘名の參集を見た、植樹は年毎に盛大になり從つて參集者も殖ゑる一方だが今年は

婦人が意外に 多く三千名餘りも集つたさうだ、記念植樹が終ると長谷川總督は一寸休憩した上、國分小原兩長官、釜屋武官以下を帶同、係員の案内で苗圃を視察した『コレは二年生の松であります』『ホウ見事なものぢや喃』此方は

◇落葉松で あります』苗圃の視察が濟むと直ぐ馬車を驅つて歸途に著く時に十一時過ぎ、參集者の主なものは前記の外古海發務總長總監部の各課長、總督府醫院醫官李秉武副將、李完用伯、中樞院參議などで本府の職員や婦人方は植樹の後は矢つくり

辨當を使つて 心行く儘に清遊を試みた、倘林業試驗所ではこの日の參集者一同に苗木を配附したが落葉松、銀杏、獨逸トゥヒ、朝鮮カラマツ、ムク、山櫻などを取り交せ千本以上のものが忽ち賣切れて了つた、天氣は好し非常な盛況、嬉しくも亦目出度い記念植樹!最後に

◇係の人は 斯う語つた 今日は名首と云はず苟くも京城の内外では一齊に記念植樹をやつて居る筈だが天氣が好いので一層の成績であらう記念植樹は年々盛大に向ひ昨年は二千百八十二萬イな植栽した、第一回以來一億三千八百四十九萬本を植栽した譯である今年は[illegible]……

第二期の植林 に屬するから第一期の植林即ち在來の禿山には經濟的の樹は植ゑられない、先づ赤松のやうなものを植ゑて土地に適當な溫り氣を保たせる事が必要である

懿寧園に於ける總督府記念植樹 (左)總督と各長官 (右)家族連の植樹

▲袴姿麗たく
京城女學校生徒の植樹

京城女學校では三日午前九時半から光熙門外の高地で記念植樹を擧行した、全校六百の生徒は一旦校に勢揃ひしたる上紫の袴の

◎美しい行列 を作つて現場に到著直ちに植樹に取り掛つた苗木は松と椒で一人が一本宛としても千二百本……コレだけのものを賑やかに笑ひさゞめきながら十一時頃迄に全部植ゑて了つた、佐保姫の柔かな懷ろに抱かれながら自然に親しむ少女達の姿は

◎綺麗にし度い 位繭たきものであつた植樹が濟むと成田校長の面白い講話があつて目出度く解散『人間も裸體で居ると風を引く、人間に著物が必要な如く山にも亦著物が必要である、山の著物は樹である、だから皆さんは山に風を引かせないやうに

◎精出して樹 を植ゑなければ不可ない、同時に慈母のやうな溫かい心を持つて常に樹を愛し樹を成長させる事が肝要である』

高女生徒の植樹

▼道府の植樹

京畿道廳では三日午前十時半から鷹獒洞津夫山の道有林區域内で記念植樹を行ひ午後二時迄に朝鮮赤松一千本櫻五百本を植栽した又京城府廳では午前十時から龍山鄉生町の御大禮記念造林地に松二千本植栽したが金谷府尹以下府吏員二百五十名ばかり參加正午頃迄に全部終了した

▼京中の植樹

京城中學校二年生以上は柴崎校長以下職員に引率せられて光化門外北漢道苗圃附近に赴き午前八時半より松を植栽十時半頃終了した

◎瀨尾工務部長收監さる
製鐵所全滅か

八幡製鐵所工務部長從五位勳四等瀨尾巧氏(五十)は三日家宅搜索を受け遂に收監されたり(福岡特電)

◎窃盜巡査檢事局送り

愛知縣西尾警察署高等刑事山中豐松は列車に乘込み乘客なる東京牛込區市谷町古物商西田勝三郎の八十圓入の鞄を窃取したる事發覺三日濱松檢事局に送らる(大阪特電)

◎京都市會議員
又復拘引さる

京都市會議員藤原浦兵衛又復收賄の嫌疑にて收監されし京都の市會議員都合二十六名に達し同市參事會員の半數を失へり(京都特電)

◎待たるゝ太陽の國
喇嘛僧一行よりの無線電信

我喇嘛僧一行を乘せたる新羅丸は今六連の島影を望みつゝ筑豐長州の連峰は[illegible]を進みつゝあり喇嘛僧一行は三日夜海中に鏡を投じて一路平安の祈を爲したる甲斐ありて一同初めての航海を悦びつゝあり、一行は今や本州の山より差上りつゝある太陽を望みつゝ古語の所謂太陽の國(ナリオ)の近きつゝあるを歡び居れり(釜山特派員特電)

◎湯屋荒し

茨城縣結城町生れ住所不定の北條百藏(二十)は二月二十七日龍山漢江通り十一番地の湯事田中りう方にて浴客なる小川某のお召羽織一枚(二十五圓)を窃取し京城地方法院にて懲役四箇月に處せらる

◎手長女

愛媛縣宇和島町生れの柳川ゆく(二十)は京城北米倉町飲食店末廣ちゐ方に雇はれ中一日二十六日南山町居住の松井某が同家にて酩酊して遺失したる四圓十錢入りの蟇口一個を窃取し京城地方法院にて懲役三箇月に處さる

◎聽衆一千餘名
▽盛なりし每日申報主催の通俗講演會

每日申報社主催の通俗講演會は四月二日午後七時半より鍾路中央基督教青年會館の大講堂に於て開かれた當日は降りみ降らずみの曇天であつたにも拘らず定刻前より續々として乘り來るもの千餘名定刻前五分頃には階上階下とも立錐の地なき有樣にて入場を謝絶するの已むなきに至つた午後七時三十分中村每申監事の開會の辭に次で千葉總督府醫院醫官は『肺結核及び其豫防法』に就て丹羽京城基督教青年會幹事は『米國に於ける社會教育』に就て講演する處あり拍手喝采の裡に閉會したるは午後十時頃なりき

◎家庭教訓的活動寫眞

▢クリスマスカロン (守錢奴の改悟) チヤシス、デツケンス傑作

▢孝子五郎正宗(浪花節入り) 教訓深き家庭劇

四月五日(金)六日(土)二日間開催

會場 有樂館
主催 京城青年會

◎朝新六千

[illegible]

讀者文藝
(一句には五十錢)

▲俗謠『櫻』

○春と名付けた霞の絹に繪より美しい山櫻(一等) 京城府 角 繼坊

▲待ちばなく〳〵咲かない櫻咲けば經たずに散る櫻 全州 多佳山人

▲大原乙女の畷の上に乘つて都へ出るさくら 京城 翠雨

▲酒い心の散りぎは見せて和に遠慮もない櫻 龍山 鳥石

▲山に櫻が咲きます頃は海にやされます櫻 京城 默江

▲散かくすな櫻の花を何がひびけば散るもの 濟州 一笑子

▲櫻咲かした情けの東風がなぜに嵐で散らす 仁川 花翁

課題募集規定

▢募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は名の外に住所氏名明記の事▲一等に五十錢書籍券を呈す▲期日は[illegible]

商況

兵庫期米
四日前場 九月限寄付 二十六圓十三錢

東京期米時電

大阪株式時電
四日後場 二十五圓七十三錢 八十三錢

大阪三品特電

大阪期米特電

下關期米時電

雜報

◎三品は浮動

綿布は龍レー十一圓四十錢
三銘先物六十錢

◎洋釘先高構へ

俟つて幾分硬化の傾
鐵材の氣直り

早晚割安の反動惹起するに至るべし

◎正米は持合

◎砂糖愈々亂調
五圓五十錢見當 高はセーの十

下關相場

南大門の廻穀

仁川正米

市場雜觀

◎錫又々昂騰
又々新高値

◎曹達灰の前途

◎釜山穀物市況

生魚市場
京城日丸市場

仁川期米
四日前場(強硬)

軒昂
硬軍の意氣

七錢高に寄付一昨止
圓○九錢と先二十二

報じ實に奇怪なる事實は其原因

動の裡に依然強硬の成行を示し
大混戰

上鞘は何二三十錢

北濱たより

▲東洋汽船株

仁川米豆取引所
四日の六月限

仁川米豆取引所仲買店 大五 店主 猪飼政太郎

大阪期米
四日後場 二十五圓四十七錢

四日の六月限

◎連絡船上陸客 四月一日

天氣
曇り

[illegible]

露西亞みやげ 亂れ箱

ウラルを越てオムスクへ ◆天山の北に朔風すさびて◆

坐ろに成吉汗の ＝鴻圖を想ふ＝

◆大寶庫＝バタが膩い

西伯利亞といへば様子を知らない人は荒涼不毛の原野の様に思ふが、西伯利亞鐵道沿線でも西部ウラルを越ゑてオビ河の上流に出たあたり即ちオムスク驛から南一帯にかけては實に農産物の無盡藏な大寶庫である、あの邊ではバタが極めて廉い、之れまで歐羅巴のバタといふバタは殆んど此の地方から供給されてゐたと云つても好い位である

◆大雄圖＝アルタイ山

獨逸の兵は既に伊犁に出たといふ電報が見わた、といへば些か眉唾物だが、現に角あの方面から天山南路を通り支那の中部に突出するとも不可能事ではない、日本人で伊犁から新疆方面を旅行した人には日野少佐があるが餘りあの地方が紹介されてゐないのは遺憾である、アルタイ山からツルキスタン裏海へかけての中央亞細亞方面、あすこを手にしに民族は將來歐亞二洲に號令するであらう、日東の男子、正に鐵木眞の雄圖を思はずんばあるまい

◆航江權＝盟でもあらう

最近黒龍江の航江權が米國に移つた様な電報があつた、若し那邊が事實としたならば日本人は首で縊つて死ねるがよからう、將來の日本人は黒龍江を輕視してはならぬ、假令東滿線が何處の國の管理に移らうと居坐らうと、あの流れさへ手に入れて置けば優に〳〵競爭は能きる、あゝ！黒龍江よ！其の萬里の流れに徒飾を唄ふ時がなければならぬ

◆對日本＝何でも結束

日露戰爭後露西亞が極東の經營に異常眞目になつたとは日本人には想像以外のことでもあつた、現に今度の騒動があつたブラゴエからチチハルに南下する鐵道の計畫、黒龍江鐵道の完成等は申すに及ばず其の他百般の施設一として對日本ならざるは無かつた相である、例へば之れを露の海軍々人に見るも戰前の士官學校卒業生は首席から中位までをバルチック艦隊にとり更に中位の者を黒海艦隊にとり更に一番ビリを浦鹽へ廻したものであつた、それが日露戰後は首席を極東へ中位をバルチックへビリを黒海へと振り替へた位ゐでこれを見ても露國の腹が判るぢやないか…と

◆三年越＝スラブ魂ひ

ロマノフ家が三百年間養成した露西亞の軍隊は社會主義の酒に醉ひつぶれて了つた、此の軍隊が再び強大なスラブ魂に立かへるか否かは實に大なる疑問であるが識者は早晩復活すべきを主唱してゐる、十年、二十年、五十年、百年、再び露西亞の陸軍が堂々西伯利亞の原野を東へ〳〵と押しよせる時があると識者は云つて居る（奉天）

勞銀益々高し

◆日當二圓近くの職工あり 人夫にても一日一圓三十錢

大連に於ける勞銀は近來打續く物價の昂騰と銀價の暴貴とに由り甚だしき昂貴を爲し向今後更に昂騰をする傾向にて事業界は爲めに多大の恐慌を來したり目下大連に於ける平均勞銀は（大工）日人一圓八十錢乃至二圓四十錢、支那人一圓十錢（石工）日人一圓二十錢、支那人一圓二十錢（煉瓦工）日人二圓七十錢、支那人一圓五十錢（鍛冶工）日人二圓六十錢、支那人一圓四十錢（左官泥工）日人三圓二十錢、支那人二圓八十錢（鐵力工）日人二圓七十錢、支那人一圓二十錢（疊職）日人一圓八十錢、支那人九十錢（人夫）日人一圓三十錢、支那人四十五錢等にして此僞屋内に於ける各種職工の勞銀亦著しき騰貴を告げたるも物價の昂騰は更に甚だしきものあれば目下市況殷盛を極め居るを以て勞力常に不足を告げ熟練工の如き月百二三十圓の收入あるものあり一般に勞働階級の生活も奢侈に流れ居れり（大連）

◆『毎日申報』主催通俗講演會（四月二日夜鐘路基督青年會館にて）

大連より

○關東都督府大正七年度産業補助費が發表せられた此の補助費から見ると都督は十年以來の産業奬勵方針を踏襲して大なる改革を試みない模様である

○即ち産業補助費の總額は百二萬一千八百七十圓であつて補助費の大部分を占めて居るのは製糖會社、製麻會社、柞蠶紡績業其他各種の企業補助費に約八十八萬圓を支出する事に成つて居る

○南滿洲が工業地として大發展を將來すべき運命を有し近來内地資本家の投資盛んとなり殊に都督府が少からざる補助金を與ふる事となれば其の發達進歩は大いに見るべきもの有るべし

○然れども一面農事畜産林業等に對する奬勵費は極めて僅少にして農事奬勵費七千五百四十八圓畜産林業等も亦大差なし斯くの如くして關東州は依然として荒野禿山十年不改の狀態なるも一方に於て企業屋なる者は袖手して補助金を餉きつゝある狀態なしとせず

○殊に銀行補助金中正隆銀行に對する補助金の如き最も其の意を解するに苦しむ處にして同銀行は高率の配當を爲し且つ近く資本金を現在の倍額一千萬圓に增加し大發展を計畫し居れり斯くの如く利益の潤澤にして立派なる銀行に巨額の補助金を交附する必要は殆ど有らざるべく考へらるゝも都督の如く特別收入の莫大なる會計にては其の支出方法に就ても又特別除外例あるは免れざる次第なるべし

○關東州にては曩に彩票の發行を許可し大いに一攫萬金の僥倖を仰する處となりしが其後彩票の發行は禁止せられたが彩票に類似するものは各處に行はれ各種の購買會及び近來タカラ會と稱する抽籤會の如きも抽籤券一枚十五六錢に一等當選者に三百圓を與ふる規約にて却々繁昌して居る模様なり或は彩票復活を見るに至るべしと一般に待望し居れり

○滿鐵重役改野様山兩理事の重任は未だ公表に至らざるも既に決定せる由なり滿鐵會社にては新興事業多く漸く其の緒に就かんとする際に當り兩理事の留任を得たるは幸とする所なるべし

滿洲の生活は 暮し難くなつた

◆五十圓の月給では僅か一月に二回位しか飲めぬ

何處も同じ事ながら近頃滿洲に於ける物價の騰貴は甚だしきものあり左に其大要を報せんに

◆月俸 五十圓の人の生活費を聞くに家賃の十二圓を筆頭に米代一箇月十二圓、之に雜貨屋の諸拂ひ（酒味噌醤油外日用品）十圓と見て此外電燈水道費二圓交際費十圓とすれば殘りが僅か一二圓にしかならぬ、そこで金融の爲に

◆質屋 の御厄介になれば二十圓借りたとして一箇月の利子が八分であるから三箇月目の期限には約五圓となる、之で年末賞與でもなければ愈々歳の瀬が越せぬとある、更らに弱り者になると

◆辨當 が一本二十錢が通り値であるから一日六十錢で月十八圓となるから逆も薄給者は遣て行けないと方々で零してゐる（安東縣）

高句麗の舊跡に 櫻桃の花咲く

◆有望なる鐵山と古石碑◆

安奉線鞍山製鐵所の八鑛區中櫻桃園附近の鐵鑛は最も有望なるものにして其連脈たる王家堡子を隔てゝ東部に瞬望せる山腹に一の石碑を發見せるが碑の表頭文に據りて察するに約四五百年前に於て該城間は高句麗族の集團部落にして同方面に一の部城を造り西部種族と兵火を交へんが爲めに盛んなる軍隊の教練を爲せるものゝ如く統率者若くは教官連の記念碑なるべしとの噂なるが地下開鑿の上は何等かの新發見あるならんといふ

物騷なる長春 強盗被害頻々

◆支那強盗が日本人を斬る◆

先頃長春驛待合室に強盗押入り數千圓を強奪し去りたるが三月二十八日午前二時頃長春東十一區百三號なる下德政助方の表硝子戸を何者かこぢ明けんとする物音を聞付け密かに裏口より忍び出で表の方へ廻りたるに怪しき二名の支那人の姿を認めたるより清水は大聲をあげて追跡したるにぞ曲者は逸早く逃走せしが跡に支那刀へ鋸力の鞘を殘めし物一振遺留しあり又た二十八日夜九時二十分頃長春西二區滿鐵社宅百十號松永芳次郎方へ三人の支那人強盗押入り兇器を以て永の肩先へ深さ五分長さ五六分の傷を負はせ金指輪一個と現金七圓餘を強奪し去りたり（長春）

解氷 松花江

例年になき暖氣の爲め松花江は昨今下流の方より解け初め解氷を見るも近きにあるべしといふ

白米一升が やがて四十錢 尤も酒類は安し

長春にては内地の昂騰に伴れて米價は殆んど天井知らずの狀勢を示し上米三斗俵十一圓五十錢を稱へ驟ては一升四十錢以上に吹上さんとする有様にて前途益々強硬の氣配を示し居れるが隨つて諸物價も昂騰する一方なれど酒類は朝鮮の如く酒稅の關係なき爲め割合に安く長春の小賣相場にて麥酒一本札幌朝日各三十五錢、キリン四十錢、櫻三十錢、清酒一升春駒八十錢、金露、澤の鶴各八十五錢、櫻正宗九十二錢、白鶴九十錢、菊正宗九十五錢、白鶴、白鹿、都菊各九十錢味淋一升一圓なりと（長春）

漸つと判つた 補助貨不足理由

平安道順川郡地方に於ては客年夏以來補助貨缺乏の聲ますます高く其筋に於ても又銀行業者側に於ても只管緩和に力めたるが近時に至りて補助貨の拂底を告げ僅に小額兌換券の流通を見るのみなるが或るかなる筋の報に依れば鮮人は小額兌換券の紙質粗惡にして永久に用ひられず ○保存すると蟲に食はれて遂に形體をも失ふに至るべしとて流通を嫌ひ一面銀貨銅貨の類を見れば何れも貯蓄し容易に市場に出ださぬと云ふ狀況なりと蓋し此の如き事實は敢て順川地方のみにあらざるべしと某金融業者は語れり（平壤）

四方八方

毎度云ふ事であり且つ近來の常套語であるが日支親善が兎角口先計りに流れたがるのは困つたものだ△と云うて四方八方は形式のみを好んで喜ぶものではないが此の間過した際腮に日本人が誰れも出迎へたものもなかつたのは如何にも物足らぬ感じがした△兎角今頃の様な事を云うと形式の時代は濟んで最早や精神の時代になつてゐるそして日支兩國人共に其の親善に對しては大に諒解して來たからそんな事は蒲十日の菊で愚の至りだ△位に御託宣が下る様だが決してそんなものではあるまいと思ふ勿論今頃は精神の域に進み排日等は見様によつては出來ない位に進んで居なければならぬ筈の△日支親善が果して如何の狀態だ形式よりも精神に推移しても絶對に形式を離れる事は不可能であるのは言ふ迄もない△殊に支那に於ける外交專門の人もあるし利害關係の甚大なる方面の人は少くとも此の方面の人は少しく考へて見ては如何△曉八百の出鱈目を並べ大言壯語して大政治家らしく吹きまくり日本の恥も顧みず支那の官憲へ御馳走の居催促をしたり寫眞の撮影を強請したりする代議士屋連中を叮嚀親切に送迎するのが或は當然で御利益は多いかは知らないが支那側の名士の往復に對しても何とか考へて見てはどんなものだらう（安東）

花

北京では今が恰度桃の花盛りで殊に本願寺境内の桃は眞盛りで文人墨客の筇を曳く者が多いさうだ

台所 その日〳〵

◇村雲豆腐◇

之れは肉のみでも魚のみでもよいのですが刻み此の外に人參、椎茸と豆腐、玉子、だし、砂糖、醤油を要します豆腐は布巾に包み搾り擂鉢に入れて擂り之れに玉子を豆腐一丁に對し二個を割り入れ能く摺り汁一合に醤油二勺、砂糖一勺位、加へ別に椎茸、人參の下拵をしておいたものと肉、魚の刻んだものとを混ぜ合せ流し箱か茶碗か丼鉢のものに入れ蒸籠の中に入れて蒸しまず十五分乃至廿分蒸すると蒸せますから適宜に切り深皿に入れて出します

◎會員募集◎ 四月八日より新學期開始す 毎週月火木午後七時半より 旭町二丁目 電話二五六五番 實用英語夜學會

大阪堂島米穀取引所仲買人 北區堂島仲町一丁目 富永龜次郎商店 電話長北一〇七三 一五八八番 一九九六 發信略語（トミ）又は（卜）

◎廣告 組合員決議に依り四月一日より大工賃金一日 金壹圓八拾錢と相定め候也 大正七年四月 龍山大工業組合

片栗粉 山サクラジルシ 元熱田商會製造 代理店 京城南大門驛前（電二一七〇） 松原運送店 一手特約店（いろは順） 京城南米倉町（電話三五一番）池尻商店 同町（電話七五六四一番）辻本商店 同南大門通（電話一五〇七番）上田商店 同南米倉町（電話一三七九番）柳井商店

衛生無害消毒劑 天下無比 登録商標 キレー齋

帽子卸問屋 開店廣告 今般販路擴張の爲め左記に出張店を設け東京帽子卸專門營業仕候に付何卒御引立の程奉願上候 東京市日本橋區博勞町四丁目 山脇製帽所 京城府漢江通八番地電話二二三 近江屋 山脇商店

電話二二七七番 京城（鍾路） 山田耳鼻咽喉科 福田齒科 醫院

京城南大門外で尤も確實で安心 ＝は＝ 京僧商會 諸機械材料商 電話二九四〇番

朝鮮代理店 專賣特許 諸機械傳動用 トンボベルト 在庫豐富

內外科 小兒科 花柳病 高井醫院 京城本町二丁目（壽館前）電話二一六番 診察自午前九時至午後九時 日曜祭日正午迄 院長 正六位勳四等功五級 高井貞治 副院長 千葉醫學士 松崎正彦

大日本優等清酒 ハックル 白鶴 品質純良 衛生無害 醸造元 攝津灘御影町 嘉納合名會社 發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番

撫順炭特約販賣 京城府龍山京町 實榮商會 電話一〇七番

謹告 一今般菓子原料暴騰の爲め同志會の決議に依り本日より菓子類の卸賣及小賣の目方賣を左の通り英斤に改正販賣の事に相成候條右御了承奉願上候也 壹磅賣 目方百二十匁 大正七年四月五日 京龍菓子製造同志會

池坊生花教授 末廣掬水儀病氣の處藥石効なく去る三日死去致候間此段辱知諸君に謹告仕候也 追而葬送の儀は明五日午後三時自宅出棺大和町開教院に於て執行可仕候 大正七年四月四日 妻 末廣あき 親戚 田中豐太郎 後藤秀庵 友人 富田金雄

代診二名入用（月俸卅圓以上） 醫員壹名入用 藥劑師一名入用（黴毒病院） ◎希望者は履歴書至急送れ 釜山驛前 中林藥房

本年春代價表進呈 山林用苗 果樹苗木 野菜種子 草花種子 花卉盆栽 農具肥料 朝鮮平壤 內田百花園

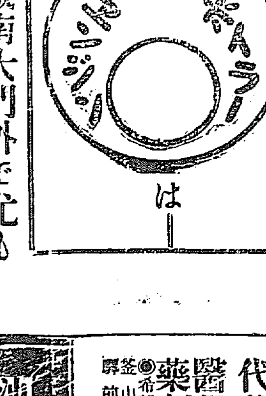
漬物問屋 大阪市南區新戎橋筋電車通 商號 森內商店 電話南三〇三七 振替大阪三四〇一三

鰹節銘茶 淺草海苔 東京澤庵 電話七〇九番、振替京城六〇番

質（大口歡迎） 黄金町長橋町入口 電話二九一六番 田村質店 商品擔保便利取扱

たんせきの良藥 セキドミン

のどさわりにて今迄彼是と他の藥を用ひ効なき方は持効藥ファーザーを御用ひあれ 瓶六十錢一圓 電話二九四九番 京城黄金町三丁目 山田文殊堂藥房



仁川期米 ◆四日後場 大阪前止め安く後寄幾らざる入電 止めなり ◆後場當限一節二十二圓二十錢四節二十錢 ◆中限一節二十二圓〆九錢十錢〆

仁川米豆取引所

塚原卜傳

悟道軒圓玉口演

第三十五席

塚原カラ〳〵と笑つて 小『三好三黨として世に聞へたる岩成が、弓矢の冥加に盡きたるか言語に斷わたる汚なき擧動、固より汝の奸謀將軍を廢して逆威を振はんとする心底は天眼ならずとも疾く知つたり、思ひも寄らぬ好き機會汝を切つて義輝公の御身を安んじ奉るも此小太郎が一つの忠功、イデ〳〵一命を申受くるぞ 主『推參至極、汝山を拔き鬼神を從へる勢ありとも我また大鵬の威を揮つて汝の瘦首微塵になさんに何の難きことかあらん、ソレ三彌、日頃手練の筒先にて此世の暇を取らして遣はせ 三『心得ました』最前からピタリと付けて居た短銃、小太郎の胸許へ狙ひを定めアワヤ火蓋を切らんとする、小太郎龍の威ありといへども矢は受けられるが短銃は難かしい、併しながらたとへ其身は討たるゝとも岩成の一命だけは討取り呉れんと一刀を取直し飛蒐らんとする、三彌は引金へ指を掛ける其間一髮、思ひ懸けなく後ろより 細『ヤア岩成殿お待ち下され、進藤にも暫時控へよ』細川兵部大輔藤孝、仔細あつて參上したり』と呼ばる聲、ハッと思つて三彌は筒先を下げ主税助も思はず後へ退がる、後ろの襖をサラリと開いて立出でましたのは卽ち藤孝、此人は足利の初世に賢相の聞へ高き細川賴之の弟 賴有より九代の後胤播磨守元常の嫡男でありますが實は足利十二代將軍義澄公の妾腹の子にして三淵大和守宗薰の養ひを受け、後元常の子となりました人物、文武兩道に精しく弓矢の故實は天下に双ぶ人もなく就中歌道に堪能で萬葉古今の秘事を傳へ其外茶道花の道何一つとして暗からぬといふ大した智者、三好長慶と並んで將軍の補佐となり、丹後出邊に住して六萬石の知行を有して居ります、後年玄旨幽齋公と稱したのは此人であります、繋がの左通も細川藤孝には一歩を讓つて居りますから思はず頭を下げる、藤『アイヤ塚原氏には初めて對面仕るが拙者は細川藤孝、此場の樣子何事かは存せんが將軍お膝許をも憚からず銃を擬るうは穩かならぬ擧動、まづお控へあるやうまた岩成殿にも仰々しく飛道具を用ゐて勝負を決せんとは近頃大人氣なし、互ひに如何なる遺恨あるにもせよ、御所中にて血を流すは不忠の至り、上將軍へ對して不忠不義の志しありといはれても一言もあるまじ、對手に誤ちあらば尊公とても無事には濟みませぬぞ早く飛道具をお納めなさるが宜しうござる岩成面目なく思ひ 主『三彌、退れ 三『ハッ』と引退がる、主税も槍を投捨てゝピタリと坐に付いたから塚原も兎に角一刀を拭つて鞘に納め、其場に坐して藤孝の言葉を待つ、藤孝も同じく其れへ坐して 藤『さて拙者此所へ參りしは仔細あつての事、其仔細を茲で詳らかにお話申したいが反つて岩成殿御身分にも障る、世上へ洩れては恥辱とも相成るに依つて態と申さんが、目前の爭ひも因はといへば一婦人の身より生じたる事、苟も將軍の近臣山城國淀の城主岩成主税助ともいはるゝ仁が一人の女に迷ひ、御座所間近く血を流したとあつては弓矢武神へも恐れあり口善惡なき京童の笑ひ草末代までの恥辱でござらう、また塚原氏にもたとへ其行ひに非なく理ありといふとも天下の政事を司どる當室町の御所中に於て白刃を揮ろい、御家人を殺傷したりとあつては其罪もまた逃るべからず、勇士は義を重んじて身を顧みずとは申せども其れは國家の大事をいふ、多寡の知れたる一婦人の爲に生命を捨てざるまでも縲紲の辱を被らば弓馬の家に生れし者として祖先へ恥辱此上もなし、彼是を考ふるに此場は藤孝にお任せあつて何事も仰せられずお引取ある方御身の爲と存ずる是非黒白は後世を俟たずとも目前に於て明白でござらう。

外科一般 皮膚科 泌尿器科 花柳病科
院長 安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院 電話四一九番

乳牛 御用 朝鮮畜産 岡野牧場 京城東四軒町 電話一〇六九番

皮膚科 外科 專門 京城太平通二丁目 扇田醫院 電話二二五八番

暦

四月五日 金曜日 九星 舊二月廿五日 癸未 本命 五黄 八方危 友引

▲五黄 無算當の事有日新事見合南方は吉 [illegible]

演藝案内

有樂館

京城ユニヴアーサル會社特約 早川演藝部直營 活動寫眞常設館 [illegible]

壽座

京城壽町 電話五七八番

四月五日午後五時より開場 第一回替り狂言 ▲第一 喜劇あいさつ遲ひ ▲第二 連鎖劇モデル ▲第三 悲劇毛谷村六助 ▲第四 喜劇粋な親父 [illegible]

大正館

櫻井町 電話八七三

四月五日より大喜劇 ハイチエス山 米國ミユチアール會社作品 ○滑稽之大王チヤップリン伯爵 △山本嘉一 ○新派活悲劇『さんざ時雨』全三卷 [illegible]

壽館

京城本町 電話一〇五〇

當る四月六日土曜午後正五時より坂井旭水師送別琵琶大會 [illegible]

黃金館

電話二六三七 二三六六

四月五日より三大寫眞提供 ○實說舊劇『七化篠兵衞』全四卷 ○泰西活劇『闇の卷』全四卷 ○新派悲劇『絆のもつれ』全四卷 [illegible]

浪花館

明治町二丁目 電話二六〇番

▲當る四月三日より開演 ○東京浪花節會幹事桃中軒如風 ○同 顧問 吉川小善次 ○一義烈白傑、桃中軒如水一孝子の譽、桃中軒如行一江戸の花、桃中軒 [illegible] 桃中軒如風

てんかん 病で時々ヒキツケ困る方切手二錢送れ永年の病も自宅でヒミツに治療す事が詳しい本を無代進呈す 名古屋市南小川町一 救生館

りん病 ばい毒 ルーデサツク
京城永樂町二丁目交番北 ドラッグ商會本部

森永 ミルクキヤラメル

常備の威力
昔にあり 事に當つて發動するは此菓子の功よ 平時 常備せよ

大學目藥

ナンテ情ないことでしやう! 眼病で何より好きなお芝居が看られぬことは……早く大學目藥で治しましやう

大阪 合資會社 參天堂藥房發行

消化と 外出に仁丹 眞に物見に仁丹 言行し

花に蝶々 遊山に仁丹

金言 金剛石よりも寸陰を貴べ

脳病良藥 レーベン
岡田醫學博士証明 のぼせ引下げの良劑
本舖 東京 中南定太郎

間自動車著發時刻
居自動車部 金泉支部

日本郵船仁川出帆
大連行、天津行 相模丸 三河丸 高砂丸 四月二十日 四月十日 四月三十日 正午出 仁川海岸町 堀 回漕部

大阪商船株式會社 汽船出帆廣告
仁川出帆 神戸大阪行 須磨丸 日清丸 南部丸 四月十五日 後五時出 ▲木浦、釜山、巖原、郷ノ浦、長崎行 安東丸 月 日 正午出 ▲群山、神戸大阪行 安東丸 南部丸 四月 四日 正午出帆 後五時出 元山出帆 西湖津城津新浦清津行 安平丸 四月九日 後十二時 釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 宮島丸 四月三日 後九時 大連出帆 上海、基隆、打狗行 湖北丸 四月十三日 基隆丸 四月十六日 前六時 後四時出 內地各港出帆主要航路 南米行 一年四回 濠洲行 每月一回 北米行 每月二回 孟買行 每月二回 南洋行 每月一回 御注意 [illegible] 大阪商船株式會社仁川支店 [illegible]

朝鮮郵船 出帆
第二成鏡丸 京畿丸 忠清丸 月 日 釜山發 元山より北鮮各地經由雄基行 總城丸 京城丸 鏡城丸 忠清丸 高運丸 月 日 元山發 大阪行(釜山門司經由) 平壤丸 月 日 釜山發 元山ヨリ釜山關門行 第二高運丸 京畿丸 月 日 元山發 元山ヨリ江原道沿岸釜山關門行 成鏡丸 忠清丸 月 日 元山發 鎮海島行浦項及各地經由 盛德丸 月 日 釜山發 浦項行 江陵丸 月 日 釜山發 濟州島行 長承浦麗水巨文島經由 昌平丸 月 日 釜山發 濟州島行 西廻 東廻 公州丸 慶興丸 月 日 木浦發 釜山、麗水間 統營丸 濟州丸 每日 釜山發 木浦天草 順天丸 南陽丸 每日 木浦發 木浦ヨリ多海島名島行 慶興丸 月 日 木浦發 仁川木浦行 晋州丸 金海丸 月 日 仁川發 濟州行 全州丸 南陽丸 每日 仁川發 三十一日ハ休航 其他諸氷ノ爲メ休航 江華島行 月 日 仁川發 濟州行(大阪神戸門司より) 平壤丸 月 日 釜山 元山著
本社 電話 [illegible] 釜山港佐藤町 釜山支店 元山港埠頭通 元山出張所 仁川港代理店 堀回漕部 木浦港代理店 山野回漕部 京城南大門通 松原運送店

共同汽船仁川出帆
阿波共同汽船株式會社 芝罘、大連行 共同丸 四月六日 午後入港 四月七日 午後時出 本町四丁目(電話一七三番) 野口商會 仁川代理店 元山代理店 田口回漕部 京城取次店 河村運送店

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、大阪行 神代丸 四月七日後四時出 秀吉丸 四月三日後四時出 君代丸 四月 日後四時出 大有丸 四月十三日後四時出 仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

釜山出帆廣告 汽船
門司、神戸、大阪行 和歌浦丸 月 日後五時出 立神丸 月 日後五時出 元山、清津、浦鹽行 和歌浦丸 月 日 立神丸 月 日 佐須奈、巖原、壹岐、博多行 大興丸 每月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆 元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三平丸 四月二十日後六時出 門司、宇品、神戸、大阪行 第三平丸 四月十一日後六時出 本船取扱店 大池回漕部

汽車

京釜線(南行) 同(北行) 湖南線(南行) 同(北行) 京義線(北行) 同(南行) 京仁線(仁川行) 京元線(北行) 同(南行)

[illegible]

第五版

京城日報

四月五日朝刊
（夕刊併せて八頁）

支那の急務

京城日報

最近支那南北妥協の氣運漸く萌れるを報ずるもの頻々、或は云ふ是れ北京政府其武力解決策の行はるべからざるを覺れると同時に、南人亦紛爭に疲るゝの色あるに由るも、果して然るか、支那人亦自ら其力を量ることを知るものと謂はざるべからず。

支那革命以來、南人北人と相抗爭するの形を成し、大凡政治上の事は總て其の南北の區別に依りて之を爭はざるべからずと爲すの情あり、併ながら南人と北人とは何故に相爭はざるべからざるか、而も北人共に之を知らざるなり、且南北といふも固と是れ杯來の言にして、南とは何れを指すか北とは何の謂なりや、時に明白を缺くあるのみならず、支那の中心たる揚子江流域には南北何れにも屬せざる中間勢力あり、又所謂北方と稱するものゝ中にも其系統は三四を算すべくして、一概に之を論ずる能はざるの實あり、從つて所謂南北抗爭なるものは歲月を經るに從つて漸く空疎に流るゝの姿あり、支那の革命は千九百十二年を以て其端を起し墨西哥革命より後るゝと一年なり、而して後者は爾來數年間無政府狀態に陷り、米國政治家の指据經營を以てするも殆ど手を著くる處なき有樣なりしに、各地各種族の爭鬪久しきに涉りて皆其力を出し盡くして復た爲すある能はざるに及びて、昨千九百十七年春を以て一旦國內各勢力の間の妥協成り、此に新たなる憲政を布くを得たり、墨西哥人が七年間紛爭を重ねて遂に妥協の機會に到達したりとせば、支那の人も亦南北抗爭此に七年、今は則ち其爭鬪を終結すべきの時機に到達せしものと爲さゞるべからず。

且今日の支那は墨西哥に比して更に重大なる事柄あり、乃ち支那は後れ馳せながら世界的大戰役に參加したるを以て、獨逸、墺洪國、土耳其、勃牙利は其敵國なり、加之露西亞は既に和を獨逸と講じ、我協商國側より離脫したるのみならず、其國內を擧げて獨逸人及び過激派系統のものゝ蹂躪に任かすといふ形體にて、其去就出處は一も信を置くに足らず、且近報を綜合すれば、獨逸は歐羅巴露西亞及び西伯利の獨墺の俘虜をして蒙古滿洲西藏諸地を經略し、此より印度を侵すべしと爲すものある他の一方には、獨逸は波斯、阿富汗地方より印度に殺到すべしと、傳ふるものあり、今日獨逸が英佛軍とは西部戰線に於て必死の爭鬪を爲しつゝある際なれば、其手を東方に伸ばすの餘地ありや否や疑はしき次第なれども、西部戰線の爭鬪とても其時間に限りあり、最早遠からずして其至處に至るべく、若敵にして此一戰に敗れざるときは、則ち世說の如く其の兵を東方に動かして、英國及び其同盟國の弱點に附け入るべきや、言を待たずして支那は早晚此波瀾の中に投せらるゝや論なく、其の共同作戰たるの義務を果たすをすら容易なりとせざるに加へて自國の領土までも敵國の壓迫を受けざるべからずとせば、其の內紛を避け、南北抗爭といふが如き無意味なる混亂をも止息せざるべからざると勿論なり。

遊支偶録

蘇峰生

（十）無底無口の大淵

請ふ吾人をして、一步を進め、支那は何故に、彼が如き世界の一大帝國として、今日迄存續したる乎を、研究せしめよ。

それには必らず幾許の理由あらむ。されど若し其中の重なる者として、擧ぐるを得ば、それは支那其自身が、殆んど一世界とも云ふ可き、廣大にして、且つ密集したる版圖に據り、宛も大なる袋の底に國を建てたると。而して恒に周邊より來襲し、若しくは流轉せる人種によりて、新血を注入せられたるとの二者に、歸せずんばあらず。

例せば希臘の如きは、今日迄存續するには、其の土地餘りに褊小に、其の人口餘りに寡少なりし也。所謂る火燃えて薪傳はらざりし也。羅馬帝國の如きは、地中海沿岸より、大西洋乃至北海の邊迄、膨脹したるも、所謂る主體たる羅馬人の數は、各所の阨衝、若しくは植民地に分布したる迄にして、其の土著せる、日耳曼族其他に及ばず、而して其領土も、一時的征服地たり。一旦羅馬帝國の紀綱弛むや、宛も洪水を決したる如く、羅馬人の本據たる伊太利さへも、北狄馬蹤の蹂躪に一任せざるを得ざりし也。

之に反し支那は、其の面積羅馬帝國の盛時に比す可くして、其の四邊を除けば、全く支那人の支那たりし也。而して其の運輸交通の便は、所謂る南船北馬の字にても、概察するに難からざる也。試みに北京より、漢口に至る大幹線の鐵道、七百五十餘哩に於て、所謂る隘路なるものは、僅かに信陽州の一あるのみ。之を以て、伊太利のアルプスの天險に、比す可らざるや論なく、乃ち長江の如きも、南北分立の牆壁となるよりも、寧ろ東西交通の通路たりし也。

吾人は支那の存續を以て、其の地勢に歸するの、最も妥當なるを疑ふ能はず。蓋し支那は、宛も無底無口の大淵の如し。何物にても、一たび此の淵中に入れば、終古出でず、又た出づる能はざる也。されば時としては、蛆の湧く處あるも、底を見る程に涸乾する心配はなき也。

英米に於ける製鐵業の趨勢（二）

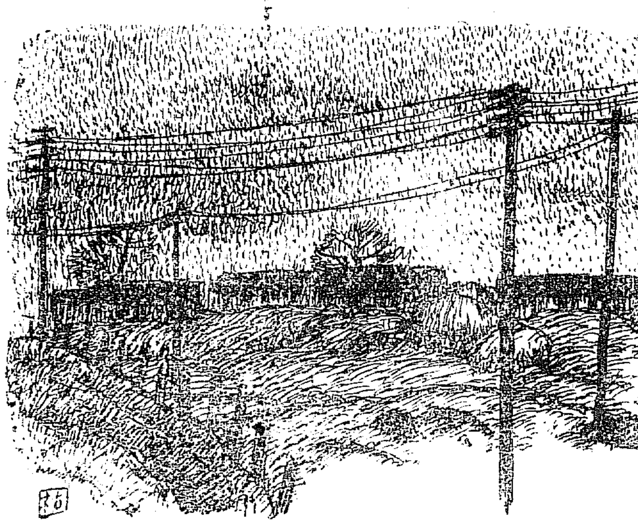
一、英國に於ける製鐵業

イ、最近に於ける趨勢

英國が機械力の重要なるを認むるに於て稍時機を失したるの感あるは前述したる所なり而も同國は今次の戰爭により一旦之を自覺するや勇往邁進開戰後の三年間に於て過去三十年間に於けるよりも多大の施設を行ひたり其の結果は同國の產鐵額に於て左の如き長足の進步を示したり

一九一三年	七、六六三、八七六噸
一九一四年	七、八三五、一一三
一九一五年	八、五五〇、〇一五
一九一六年	九、二四五、四五七

一九一七年度の產出額に至ては精細に之を擧げ難しと雖も當業者の言によれば總計一千二百萬噸の巨額なるべしと曰へり果して然らば僅に四年間に約七割の增加を見たるなり戰爭は鐵の取引に關する擧動を一變せり即ち產鐵額に於て斯の如き大發展をなせしに拘はらず軍用以外の內國消費に對しては一切之が供給を閉鎖して了りたり軍需省は內國消費者と製鐵業者との間に立ち戰爭以外の目的には殆んど鐵の使用を許さず又中立國への輸出も之を禁じ力めて佛伊二國の要求に應じ居れり而して前述九百萬噸の產鐵は其の全部直接間接に戰爭の用に供せらるゝものなれば一九一七年の產鐵額にして果して一千二百萬噸に達せるに於ては英國の戰鬪力は同年中に四割三分三厘の增加を見たるべきなり



◆小雨ふる朝　古賀祐雄筆

て最近に於ける產鐵の狀態を考ふるに一時世に喧傳せらるゝに至れる鐵類最高價格決定問題は一九一七年十一月中絕えず鐵類の取引を溷亂したりしが十二月上旬に至りても尙其の決定を見ず又坑夫の賃銀が製に一日一志六片の騰貴を來し採掘用具にも亦價格の增加ありたる結果石炭の價格に每噸二志六片の騰貴を來し延て骸炭の價格も每噸四志乃至五志時には鎔鑛爐用骸炭六志製鋼用骸炭七志の騰貴を見るに至り其他にも尙諸多の原因ありて銑鐵の生產費は每噸約十志の增加を見たり此の如き生產費增加の結果鎔鑛爐の作業は收支相償はざるに至りたるを以て政府は鐵類價格の値上げを許可するか然らざれば之が損失を補塡すべき補助金を與ふるか其の一に出でざるべからざる必要に逢著したり而も右に付未だ何等の決定を見ざるを以て製鐵業は目下不安定の狀態にあるを免れず蓋し鋼鐵及び製品の價格を左右するものは銑鐵の價格なるに其の銑鐵の價格に騰貴を來したることなれば之が影響を受けて鐵類並に鐵製品の價格も亦騰貴を來したるは勿論の事なり況んや賃銀問題の更に之に加はり紛糾せる勢を添ふるありて市況を益紛糾せり抑も鐵工業に於ては賃銀は鐵の價格により決定し或四半季に於て鐵の價格の騰貴ありたるときは必ず次の四半季に於て賃銀の騰貴を見るの例なり是故に賃銀と鐵價とは鐵工業に於て相互に一變動を來すを常とし不時に於ては稍之を寬假すべきも目下の戰時狀態にありては將來に於ける經濟的地位及競爭力を害すること渺少に非ず目下鎔鑛爐の賃銀は一九一四年の半頃に於ける賃銀に比し『リンカーンシャー』に於ては五割五厘『クレヴランド』に於ては五割五分七厘五毛、蘇格蘭にては六割二分五厘『カムバーランド』にては六割八分七厘五毛の騰貴にして下級の職工すら戰前の賃銀より高きこと一週十五志の割合なり左れば銑鐵の價格にして一噸十志の騰貴を來すに於ては鎔鑛爐の賃銀は更に一割二分五厘內外の增加を來すべく同時に高級職員に至るまで皆相應に給料の增加を見るに至るべきなり

小說戲曲一斑（六）

於京城俱樂部　今關天彭氏談

小說の方面は大體前回で終つて戲曲の方面を些しくお話しする、戲曲の來歷をお話しするとナカ／＼長いのであるが、之れは總て省略して其の最も發達した元代から始めることゝする。支那の文學方面の發達順序は、先づ兩漢時代は文章である、即ち漢文と稱せられて居る。次は唐代で唐詩と稱する。これは詩の大發達を遂げたので、此れから變化した、詞即ち詩餘の大發達を遂げた時代であるから、宋詞と稱して居る。この詞とは日本人は餘り解せぬやうであるが、支那の近代の文學を研究するには、之れが解らぬやうでは研究が出來ぬ。詩は古文學に屬するもので詞は時代の文學である。この詞から發達したのが曲である。曲とは詞を幾つも幾つも重ねて、一つの事實を寫し出すのみならず、その曲に現はれたところのものを俳優がシグサをして見せるので、そこで戲曲と云ふのである。これが元の時代に著るしく發達した。元代の戲曲を北曲または雜劇と曰ふ。ナゼ北曲と云ふかと云ふと、重く濁つたそして緩い北方の音を土臺として作つて來たもので、北音を調和させて九宮と云ふものを作つた。九宮とは黃鍾宮、仙呂宮などの九つの調子で、ナカ／＼分り惡いものであるが、たとへて申せば、義太夫とか說敎とか常磐津とか長歌とかの調子である。この九つの調子に、それ／＼の組歌がついて、そして九宮の始めの黃鍾宮から、終りの大石調までを一まわりして、一つの劇を組立て、大抵四段から出來て居る。また曲の意味を演ずる役者にもいろ／＼の名目がある。即ち五種の脚色で、末（男の立役）旦（女の役）外（老人）淨（カタキ役）丑（道化）の五つである。この五つから化して、まだいろ／＼あるが、大抵これで盡きる。マアかゝる仕掛けで戲曲は出來上る。元の時代には戲曲の數が澤山あつたのであるが、今日では元曲選と云つて、この多くの中から最も宜しいのを百種程選んだのが殘つて居るだけだ。その中の傑作は馬致遠の漢宮秋（王昭君を主人公としたもの）白仁甫の梧桐雨（楊貴妃を主人公としたもの）などである。この元曲選の外に元代第一として名高き西廂記がある。これは張生と鶯々との戀物語で、詞曲の美しいことは、古今獨步の稱がある。之を讀んで文學的趣味を解するもので、感歎せぬものはないのである。元末から南曲が起つた。これは北曲ばかりでは面白くないところから、南方の調子で南九宮を作り、これで戲曲を作つたものである。南曲を一に傳奇と云ふ。雜劇、傳奇と云ふと、北曲、南曲と云ふと同じことである。

本紙定價 △一部金二錢五厘△一ヶ月金五十五錢 [illegible]
廣告料金 [illegible]
發行兼編輯人 奧山直[illegible]　印刷人 小川三之助
發行所 京城太平町通一丁目 京城日報社 電話 [illegible]

大阪株式市況? [illegible]
大阪株式 東京株式 堂島米 [illegible] 一八三、五〇
[illegible] 仁川期米 [illegible] くて後寄らざる大電 ▲後場寄限一節二十二圓二十錢四錢 ▲中限一節二十二圓〆九錢十錢〆 [illegible]
仁川米豆取引所 [illegible]

小學校卒業生の講習に最も適せる本會發行の中學講義錄に就て學び將來の立身出世を期せよ　目下入會の絕好期也
金壹千圓懸賞にて見せる三段式　最新最良理想的教授法に就て學べ ◎ 新入會者既に五萬人に達せり
大日本國民中學會
講義錄規則書見本つき申込次第進呈
會長 尾崎行雄　學監 遠藤文學博士 山內理學博士　顧問 新渡戶博士 和田垣博士 三宅博士 浮田博士
第廿九回新學期開講 各種大特典提供
東京駿河臺（電本二〇〇二・二〇〇四）大日本國民中學會

筆陣堂々陽春四月號の偉觀
朝鮮公論
▽朝鮮に於ける新事業と民間金……太陽生命專務 清水文之輔
國民の時局對應策如何……政友會總務 野田卯太郎
▽千代本新女將論……記者　▽公論餘滴
▽工業獨立の急務と新大陸……京電專務 木本倉二
新附同胞の精神的救濟……男爵 澁澤榮一
▽靑年壽伯林風の家……記者　▽第二回高同窓會
▽朝鮮の衛生施設……總督府衛生課長 板東義雄
奇策縱橫 二大麥酒會社のビール戰……追川敷人
當代官民課長總まくり……朝鮮商銀 [illegible]
▽第四十議會と植民地問題　▽六號雜事
▽半島に於ける事業開發の著眼點……東拓理事 川上常郎
植民地統治に關し寺內內閣の所信を質す……朝鮮公論社長 牧山耕藏
▽朝鮮銀行と信託業務……鮮銀理事 大田三郎
▽朝鮮の海員養成に就て……遞信局海事課長 伊藤完弘
▽滿洲の快漢相生由太郎（人物月旦）……有馬易水
鮮滿に於ける五大實業王國の「事業爭奪戰」（三井王國の解剖）その二……石森生
▽春芽光……角田不案　一羽の雀……佐々木有風
▽初めて內地を觀たる鮮人の感想……嗚呼子友一郎氏
藝妓の戀二篇（花勇の戀物語 戀に狂ふ呂之助）……胡蝶園主人
▽花柳病の話……醫學士 一戶　▽藝妓番附
▽小資本家の救濟と庶民銀行……漢銀局長 中村光吉
西伯利亞出兵と財政經濟……慶大教授 代議士 堀切善兵衛
購買申込所 京城 朝鮮公論社 振替京城五七七番

有給 支部長 有給 販賣員募集
履歷書と三錢切手送れ詳細規程書送付
東京淀橋 東光園

大日本漢文學會
會長 帝國學士院會員東京帝國大學教授從四位文學博士 服部宇之吉先生
講師 林博士 岡田教授 宇野教授 北村教授 鹽谷教授 島田教授 外現代一流大家
第拾回新學期開講
會則を見よ 本會は漢文學研究と國民精神の涵養を目的とし漢文講義錄を發行す 講義錄は東大支那哲文學研究室關係諸先生の合著編纂執筆に係り [illegible] 申込次第會則送呈
此際入會者大特典有り入會の最好機
東京神田西小川町貳丁目壹番地 大日本漢文學會（振替東京三七八〇番）

從來三井物產株式會社に於て代理引受居候米國ヴァルヴォリンオイル會社製造に係る礦油類一切の代理契約は今回兩社間に於て契約解除と相成自今當千代田組に於て代理店繼承致事と相成候間何卒舊に倍し御引立を蒙り度右御披露申上候　敬具
大正七年四月　日
米國ヴァルヴォリンオイル會社 日本朝鮮滿洲總代理店
千代田組大阪支店
大阪市北區曾根崎上二丁目九十八番地
電話北 三四七番 三四八番 六三七番
本店 東京・支店 大阪 福岡 仙臺

○敵軍連日巴里砲擊

アラス及びセントポールは猛烈なる砲擊を受け巴里の砲擊は廿八日以降再開され英軍正面には局部的攻擊及奇襲行はれつゝあり（巴里電報）

○獨損害五十二萬人

羅馬來電＝公平なる中立諸國の報道を綜合するに今回の大攻勢に於ける獨軍の損害は今日迄五十二萬五千名に達したりと（香港電報）

○米對土勃國開戰乎

米國上院議員キング氏は土耳古及び勃牙利に對し戰を宣布告す可しとの決議案を提出せり（華盛頓電報）

○米鐵道隊使用協定

米國鐵道隊及びホルワット將軍との間に在哈爾賓同鐵道隊長より若干名を露國鐵道從業員指導の爲め東清鐵道に限り是れを使用する事の協定成立したり（東京特電）

○米鐵道隊任用經緯

米國鐵道從業員が今回東清鐵道の露國從業員を指導するの協定成りし事は別報確かなる筋の情報により明かなるが右は革命前米國ルート卿が技師長スチーブンス氏以下二百餘名の鐵道從業員を引率し時の露國當局との間に西伯利亞鐵道の整理を爲す事を協定したりしも間もなく革命亂の爲め該計畫は實行するに至らずして止みたるが其後スチーブンス氏以下の鐵道隊は哈爾賓地方に居殘りス氏は長崎橫濱附近に滯留し居たりしに過般哈爾賓に至り東清鐵道總裁ホルワット將軍との間に該交涉を遂げたるものなるべく而して鐵道線は西伯利亞を除く東清鐵道ボクラニチカヤ驛より滿洲里驛に至る間の線なりと云ふも詳細は猶不明なり、該鐵道線は從來亂雜を極め居れるを以て停車場、倉庫線路等を整理し又機關車を修理するは其主なる仕事なる如く米國側は政治的には何等の意味を有せずごく言明し居るも是れ表面の辯明に過ぎざる如しと傳へらる米國は先年我政府に於て寬城子、老少溝間の東清線讓渡交涉に際し早くも是れに注目し逸早くルート卿は其鐵道隊一行を派遣したるなれば蓋し今次の米國鐵道從業員の任用に對しては頗る注目す可き意味ある可きを手ごいふ（東京特電）

○阪谷男馮總統訪問

阪谷男は三日林公使の東道にて馮總統と會見せるが總統は最も懇切なる態度にて男を迎へ巴里經濟會議及び世界の形勢等當時の話題に上りたり大總統は深く日本に信賴し居る旨を述べ會見約二時間に亘りたるが終始打解けたる態度にて意見を交換せり（北京特電）

○支那軍浦鹽派遣說

浦鹽動亂鎭定の爲め吉林黑龍の兩地の支那軍を派遣せんと目下北京と協議中なるが輸送上の困難あり實現覺束無かるべしと傳へらる（長春特電）

○支那領事引揚準備

浦鹽駐在支那領事は形勢危險を加へ何時引揚ぐるやも知れざるに就き政府に對し哈爾賓迄に特別列車の用意及び軍艦派遣方を請ひたり（浦鹽電報）

○湯林兩氏の首相訪問

湯化龍、林長民の兩氏は章支那公使同伴四日午前十時寺內首相を官邸に訪問し日支兩國政治經濟事項に關する意見を開陳し同十一時過ぎ退出せり（東京特電）

○東亞興業總會 新株募集可決

東亞興業會社にては四日午後一時生命保險協會にて臨時總會を開き支那に發展する理由の下に現資本金三百萬圓を二千萬圓に增資す又新株三十四萬株は舊株一に對し四株を割當て殘株十萬株の募集は重役に一任する事並に是れに伴ふ定款改正案を可決したり（東京特電）

○聯合軍弱點除かる

[illegible]獨立したる事なり西部戰線に於ても英軍は英國司令部の作戰に依り佛軍は佛軍司令部の作戰に依りて弱點を暴露するの已むを得ざりし事あり英國首相ロイドジョージ氏は極力此作戰不統一を以て聯合命令權を害するものとして此會議の趣旨に反對したるを以て其職を去るの已むを得ざるに至れり然も[illegible]では非常の犧牲的決心ならざる可らず同時にアスキス氏一派の英獨安協論者が漸を踏めて戰爭遂行論[illegible]戰は到底して見るべきものあらん（フォッシュ將軍は一九一四年マルン戰役に於て佛國の[illegible]

○徐樹錚著北京

徐樹錚氏は政府の招きに依り三日朝北京に來著せり（北京特電）

○橫斷航路祝賀

三日正午朝鄧の橫斷航路祝賀會あり又同日午後六時半市民の祝賀會を商業會議所樓上にて開催共に盛會を極む（元山特電）

○原鹽浦鹽輸出

四日出帆の平安丸は原鹽百萬斤を積載し浦鹽に直行せり（元山特電）

○平壤丸元山發

日本海橫斷初航路平壤丸は元山より視察團及び大豆肥料醬元豆等を積載し四日午前二時元山を出帆し敦賀に向ひたり（元山特電）

○獨軍側面の危險漸く增大す

中央突破果して如何

三月廿七日獨逸軍は巴里アミアン鐵道線上のモンチヂエルを占領しつゝ敵は更にアラス方面に向つて新攻勢を開始し英軍は之を擊退しつゝありと報せりモンチヂエルはアミアンの南方にありアラスはアミアンの北方にあり獨逸がアラスに向つて新攻勢を採るに至りたる目的はアラス、モンチヂエル間の英軍を其の有力なる根據地アミアンに壓迫し之を南方佛軍及び北方にある友軍の援助を受けざらしめんとするに非ざるか獨軍が若し斯の如き作戰を採るとすれば獨逸が最も惱める英軍の大部隊アミアン附近に包圍するか然らずんば海岸に壓迫するを得て快は即ち快ならんと雖も獨逸軍の戰線は非常に延長し英佛兩軍の中間に突入する形態となり側面攻擊の危險非常に增加するもの也殊に注意すべきは佛軍司令部にある新聞通信員の報ずる所に依れば英佛軍は未だ其豫備隊を使用し居らざる事なり今回の獨軍大攻勢は半年以前より豫期せられたる所なれば英佛軍も相當之に對して作戰上の準備ありしは疑ふべからず獨逸がスカルプ、ソンム、オアズ三河の流域に向て攻勢を把る事も獨軍集中の形勢に依りて豫期されたりとさへ云ふ者あり然らば英軍は此三流域の中央なるモンチヂエル地方に於て退却せしも何等かの作戰上の理由あるに非ずや今日の戰爭は戰術の戰なると共に戰略の戰なり英佛軍の戰線は非常に彎曲し突入され居るも尚未だ突破され居るに非ず今日は敵味方最も周密なる作戰計畫を發展しつゝあり今後數日の戰況に依り形勢如何に變化すべきかは容易に豫言す可らず（一日＝東京）

○徵兵檢查施行

大正七年度鮮內徵兵體格檢査は本月一日より各地に於て施行中なるが其の日程及び員數等左の如しと

地	日程	員數	場所
龍山	自四月一日 迄同六日	[illegible]人	步兵第七十八聯隊下士集會所
平壤	自同五日 迄同六日	[illegible]	步兵第七十七聯隊下士集會所
義州	同 七日	[illegible]	義州守備隊
元山	同 五日	[illegible]	元山商業會議所
咸興	一同 五日	[illegible]	步兵第七十四聯隊
羅南	同 五日	[illegible]	羅南步兵第七十三聯隊
大田	自同五日 迄同七日	[illegible]	大田淨土寺院
大邱	自同四日 迄同五日	[illegible]	大邱大休寺
統營	自同四日 迄同七日	[illegible]	東本願寺別院
合計		[illegible]人	

○貨車配給狀況

現在滿鐵京管局使用貨車數一千八百二十輛にして最近に於ける配給狀態を聞くに各驛の停車三百二十五輛整理車九百八十三輛留置車百六十輛修繕五十三輛其他は專用車等なるが毎日の使用數は三百四五十輛より約四百輛內外を往來し毎日各驛よりの請求車六百輛內外に對し約六十パーセント以上の要求に應じつゝあるを以て概して貨車配給は平滑に行はれあるものゝ如しと

○京城戸口數 人口廿五萬三千百餘人

大正六年十二月末日現在京城府の戸數は內地人戸數一萬七千五百七十八戸人口六萬六千五百六十五人朝鮮人三萬九千九百二十九戸十萬四千五百二人支那人其他外國人五百五十六戸二千八十七人合計戸數五萬八千六十三戸人口二十五萬三千五十四人にして之を前年同期に比すれば內地人戸數百二十一戸人口四百六十五人を減じ朝鮮人戸數百六戸人口六百二十六人を增し支那人其他外國人四戸八十五人を減少し結局戸數に於て十九戸を減じ人口に於て八十六人を增加せり而して內地人を府縣別にせば其の最も多きは山口縣の六千百九十九人にして福岡縣四千四百四十六人東京府四千六十六人之に亞ぎ最も少きは青森縣の二百二十三人沖繩縣三十八人等なり內地人減少の原因は併合後經濟交通其他諸般の關係漸次密接となるに從ひ來往者年々增加の傾向ありたるに拘はらず大正六年に至り斯の如き減退を來したる所以は歐州戰亂勃發以來我國に於ける諸種工業勃興の結果多額の勞銀得易きに依り再び內地に引上げらるると又一は都會の生計困難を極むる爲め鮮內地に入込む者增加せるに因るもの如し又朝鮮人は併合前後に於て中流階級の徒食者都市の生活に耐へずして地方に移去せる者多く之が爲め一時人口減退せるを時勢の進運と共に企業の勃興に伴ひ漸次鮮人勞働者の需要を喚起したれば大正五年度に於て至れり然るに大正六年末調査に依れば僅に六百二十六人の增加に過ぎざりしは近時鮮內各地方に於ける事業の勃興と一は鮮人勞働者の內地移出盛んなる結果に因れるものゝ如し左に現在內地人府縣別を揭ぐべし

本籍地	戸數	人口
東京	一、〇二八	四、〇六六
京都	三六〇	一、三三八
大阪	七二二	二、四六七
神奈川	一八六	七〇三
兵庫	四六二	一、七二三
長崎	九九二	三、九三三
新潟	二八四	一、〇九一
埼玉	一一七	四一一
千葉	一七二	五九七
茨城	一二〇	[illegible]
群馬	一三四	[illegible]
栃木	一二七	[illegible]
奈良	[illegible]	[illegible]
三重	[illegible]	[illegible]
愛知	[illegible]	[illegible]
靜岡	[illegible]	[illegible]
山梨	[illegible]	[illegible]
滋賀	[illegible]	[illegible]
岐阜	[illegible]	[illegible]
長野	[illegible]	[illegible]
宮城	[illegible]	[illegible]
福島	[illegible]	[illegible]
岩手	[illegible]	[illegible]
青森	[illegible]	[illegible]
山形	[illegible]	[illegible]
秋田	[illegible]	[illegible]
福井	[illegible]	[illegible]
石川	[illegible]	[illegible]
富山	[illegible]	[illegible]
鳥取	[illegible]	[illegible]
島根	[illegible]	[illegible]
岡山	[illegible]	[illegible]
廣島	[illegible]	[illegible]
山口	[illegible]	[illegible]
和歌山	[illegible]	[illegible]
德島	[illegible]	[illegible]
香川	[illegible]	[illegible]
愛媛	[illegible]	[illegible]
高知	[illegible]	[illegible]
福岡	[illegible]	[illegible]
大分	[illegible]	[illegible]
佐賀	[illegible]	[illegible]
熊本	[illegible]	[illegible]
宮崎	[illegible]	[illegible]
鹿兒島	[illegible]	[illegible]
沖繩	[illegible]	[illegible]
北海道	一一八	四九〇
總計	一七、五七八	六六、五六五

○傭船料弱含み

船舶十五萬噸提供決定、船鐵交換[illegible]活況を呈せる傭船界[illegible]東洋、瓜哇、西貢三十二圓近海二十七八圓位通じて一圓乃至一圓五十錢方低落し北米運賃又[illegible]ず獨り大連濱間豆粕運賃は一圓と突飛高を示せるが傭船界は目下[illegible]契約行はれず運賃[illegible]るべきを以て之を動機に運賃界は好況に入るべしと觀らる（東京）

○赴日記者團日程

赴日支那記者團一行は十日夜北京を發し十一日奉天を經て十二日午後七時五十分南大門驛著列車にて京城通過十三日朝釜山發同夜下關に上陸一泊の上若松を觀十六七兩日は大阪京都を觀光し十七日夜東京著廿六日迄滯在其間目下開會中の電氣博を始め橫濱及び日立の造船所を參觀三十日夜下關發（五）月一日午後九時四十分京城通過奉天より大連に出て再び奉天を通過し京奉線にて五月六日朝北京歸著の豫定なり

○對支貿易出超一千餘萬圓

大藏省の調査にかゝる三月下旬對支貿易は輸出千四百萬圓輸入三百八十五萬圓差引一千餘萬圓の出超を見たり（東京特電）

○我陸軍新式砲使用

軍の現に使用せる戰時砲は概ね十三珊砲にて新式の大正四年式十五珊砲の備へあるは四個聯隊に過ぎず故に當局は全部新式十五珊砲に統一す可く本年より順次新舊砲の取替へを爲す可しと（東京特電）

○醬油味噌運賃割引

滿鐵京城管理局にては仁川、永登浦、南大門、龍山、大田、平壤、鎭南浦驛發醬油味噌一般割引運賃制を設け四月一日より取扱を開始せり

○岡本參謀長出張

第十九師團參謀長岡本大佐は義州、新義州及平壤各部隊兵器檢査の爲め副官園田大尉を隨へ四日朝龍山發列車にて北行せるが來る十日午後六時十五分龍山著列車にて歸任の筈

○兩經理部長東上

來る四月十二日より六日間陸軍省に於て開かるべき經理部長會議列席の爲め第十九師團經理部長廣瀨正德氏及び第二十師團經理部長早川滾氏は六日朝出發東上すべし

○竹內中佐出張

駐剳軍高級副官竹內中佐は三日朝出發七日歸著の豫定を以て大邱釜山徵兵檢査視察の爲め出張せり

○京管局晚餐會

滿鐵京城管理局にては四日午後七時より入京中の日支聯絡會議列席者一行を朝鮮ホテルに招待し晚餐會を催したるが鐵道側よりは各課長新田鐵道局工務課長出席せり

○京城老人親例會

趙子爵病氣平癒の爲め

京城老人親にては會長趙重應子爵の病氣平癒せるを以て三日午後七時より明月館に支那料理を開き[illegible]

○夏物絹織旺盛

夏織物は需要著しく增加し絹織物は頗る盛況を呈し[illegible]細絲の奔騰して止まざる因は[illegible]絲價は三百五十圓臺に工夫すれば絲價三百二十圓臺にて採算引合ふ[illegible]四百圓臺と暴騰する爲め製產不可能に陷り產地多く著しき減產を來したると共に絹織相場は昂騰し久留米絣は小賣相場十圓內外を唱へ居る爲め僅に二三圓高に過ぎざる銘仙細類に一般の需要向けられ特に各地方は米價高きと生絲空前の高値を現はし居る爲め農家の懷合裕なれば自然絹織物に人氣起る狀況にて絹織界は近來の好況を示し四月の製產額は一割增の豫想なるが絹織物は昨今殆んど製織休止の狀なりと

○油類相場昂騰

油界は在荷揚底の爲め揮發油は非常の強含みとなり上向き續きの狀となり最近更に四五十錢方の上向きを示し器械油も略ぼ同一の品薄にて三四十錢方上向き今後需要增加の場合は一層騰貴を現はさん狀あり輕油は在荷稍豐富のため市價保合の狀なるが之れ亦先物弱含みなりと

大阪財界便り

○炭價影響劇甚

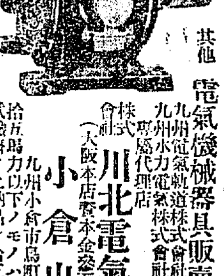
石炭暴騰の影響は各方面に波及し地方小規模の瓦斯會社は一時休業するもの多く特に製煉業の影響は最も甚しく伸銅業の小規模なるものは全部の利益を石炭費に投ずるも尚不足を感ずる狀にして亞鉛業の如きも亦石炭の影響著しきものあり其他炭價安値時に長期先約する餘裕なく賃需買を爲す小規模の工場使用工場は皆現在運賃を併せ百二十七八圓內外の炭價にては到底採算引合はず火力工場の影響は慘狀を呈し居れり又地方に依り缺乏の爲め石炭を用ひ居る湯屋の如きは休業者多く僅に時間を限りて營業を繼續する等炭價に苦むもの全國に亙りて莫大の數に上るべし政府が炭價調節を圖らず一方鐵道運賃を引上げんとするなど工業を除外する態度は疑問なりと

東洋大學教授 土屋鳳洲先生著 定價一圓拾錢 郵稅八錢 京城本町 大阪屋號

莊子私集講義

一代の鴻儒土屋弘先生其心を「莊子」を研究するもの實に廿有餘年今その見解を公にして讀むものをして俗塵の巷を超脫して天遊の境に進するを得しめ進みては國家有用の材となり退きては明哲身を保つの訓を奉せしめむとす正にこれ世を濟ひ民を利せむと欲する至情の發露にして夫の凡庸なる「莊子」講義と同列に論ずべき者にあらざる也

△東京小石川區原町六 △振替東京一五六八六 丙午出版社



川北製モートル 半馬力以上二百馬力マデ

其他 電氣機械器具販賣

九州電氣軌道株式會社 九州水力電氣株式會社 京城代理店

株式會社 川北電氣企業社（大阪本店香本金參百萬圓）

小倉出張所

九州小倉市馬町三丁目電話六八 拾五馬力以下ノモノハ各電氣會社ニテ試驗濟ノ上納品シ拾五馬力以上ノモノハ試驗濟ノ際技師立會シ納入ス

四月特別號 文章世界

◎有島武郎論…江口渙

◎民本思想の研究

△文藝と民本主義…長谷川天溪 △民本主義の文化史的價値…田中王堂 △民本主義と個人主義…三井甲之 △ロシア文學と民本思想…昇曙夢 △トルストイの民主思想…加藤一夫 △カアペンタアの民主々義…宮崎新三郎 △ホイットマンの民主思想…白鳥省吾 △トラウベルと民本思想…富田碎花

◎文壇の印象

◎創作八篇

保安林盜伐…野村愛生 文明の狂人…小川未明 小犬…吉野菅吉 幽靈…中村星湖 櫻の實の熟する時…島崎藤村 敎師の家にて…民與 遠くへ行く船…多々安 皮膚科病室…前田晁

◎心理の縱斷と橫斷

定價金四十五錢 郵稅二錢 東京 博文館 振替東京

特別提供要項

市場賣買ノ中心花形タルベキ運命ヲ持テル

上海取引所株提供

內容說明書申込次第進呈ス

提供價格 壹株ニ付拾八圓（プレミアム）

申込單位 拾株以上

申込證據金 壹株ニ付拾圓

送達方法 株券ハ四月廿日第一回拂込金拾圓五十錢拂込ヲナシ殘金ハ引換荷爲替ニテ送達ス

福岡市下鰯町取引所仲買人

石黑商店現株部

電話三三六一九 一七〇五 一二四一七 振替口座福岡 八八〇〇八

不動產賣却公告

京城府黃金町二丁目南大門通二丁目

明治町一丁目所在

一、土地約五千五百五拾七坪

一、但地上建物

右賣却ス買受希望ノ者ハ當驗會計課ニ就キ入札心得書契約書案及圖面熟覽ノ上來ル四月二十五日正午限入札書ヲ同課ニ差出サルヘシ即時開札ス

大正七年四月一日 李王職

京日案內

普通一回前金五十錢 一番外一回前金一圓（四行以內）

△申込は必ず前日中に △六號活字以上は其都度相談 △廣告文の責任は申込者に在る事

落花生（南京豆）りん掛地卸 京城太平通二ノ六 井上商店 628

門生入用 希望者本人乞來談 金銀細工 龍山元町三丁目七二 正 615

看護婦見習 至急募集 希望者は履歷書携帶乙來談 京城本町二ノ四五 山川醫院 620

京川行自働車 午前八時發 京城水標町 松田商會 電話二三八 612

大監督一名至急入用 身體強健にして辭語を解する者 京城黃金町一の五 小川 622

電氣モーター五馬力買入たし 京城長谷川町 近澤洋紙店 545

留守番雇入たし但夫婦者にて子供なき者に限る 新町 君の江 618

店員名募集 但本年小學校卒業の者夜間通學の便を與ふ 希望者直接本人來談あれ 本町一丁目 山岸天祐堂 628

代診一名 看護婦二名 見習看護婦五名採用す 志望者は本人至急來談あれ 仁川 佐藤病院 580

恩給年金立替 五年三年分迄無保險 手數料低利 京城若草町 電話三九一 國江商會 629

時計職人二名至急入用 滿洲撫順千金寨元町 石原洋行 627

社員大募集（內鮮人） 有給 希望者は履歷書携帶來談ありたし 京城黃金町一丁目一八五番地 蓬萊生命保險朝鮮支部 625

社員採用 有給 但簿記に經驗を有し英語及日本語充分に解する者を求む 希望者は和英履歷書を添へ朝鮮ホテル內プーロ宛至急申込まれ 617

信用又擔保付貸出 懇切秘密に御用申上候 京城府鐘路橫門前 電話二九六五 三成社 613

椅子・卓子・金庫 新古格安製造販賣 京城黃金町二 電話二四二一 室商店 589

鑛物各種分析 明治町二 支那領事館前郵便局 田部分析所 電話長二七七一 598

男女社員採用 希望者は履歷書携帶午前中來談あれ 京城黃金町三丁目二九一 愛國國債株式會社京城支部 595

ゴム 玩具一式○寶月○サック並玩具○完買無料郵送 春期ゴム製品好行の時來れり 京城太平通二ノ三三 振替三三三 太陽商會

櫻楓各種 其他觀賞樹 三年以上八年生五萬本安價提供 多少不拘御用命 京城植物園 610

第六十八回新債券 出賣 債券と御交換も致します 太平通一ノ一二三 電二七九三番 朝鮮產業社 78

各種十管 煉瓦陶器 植木鉢 類 京城太平町二丁目 山本商店 616

軍の爲めに一大紀元を劃するもして敵が獨逸參謀本部の唯一の
也聯合軍の弱點は其命令が個々度に服し來れるに比較して歐々
……其共同作戰の參謀總長たりしロバートソン將軍は之を以て英軍の……は戰局の重大なるに鑑み已むを得ざるに出でたりとは云へ英國としものが英佛軍全部が一司令官の下に屬するに到れる今後聯合軍の作……重大なる任務を盡くしたり（一日東京）
……不許可の……明にて頭打ち備船料は拔貫七圓五十錢と五十錢方引通へ……土西以東三十九圓乃至四十圓普通と未だ備船料との均衡を保つ能はず……提供船補充に備船せる……船料は北米航値上の止むを得ざる狀態となり

◎浦鹽の名物女
▼――密偵を追つ拂つた　お慶さん

多數の强盜團が白晝公然、浦鹽一の旅館ツエルサリを襲うた事は前に報いたがコレについて頗る面白い挿話がある

强盜團はホテルを襲ふと直ぐ嚴重に出入口を固め一隊の者はピストル片手に雪崩を打つて客室へと向つた、ホテルの者は間もなくソレと氣が付いたが恰度活劇で見る

◆◆ヂゴマ其儘

此時はもう電話線まで切斷してあると云ふ機敏さに其筋に密告する事さへ出來ない、と云つて抵抗すれば命と懸け替だから、只あれよ〳〵と見て居る許り、其頭に强盜團は片つ端から客室を臨檢して有無を云はさず所持金を捲き上げ最後に一日本婦人の室を襲うた『金を出せ、出さねばコレだぞ』とピストルを突き付けて何處も同じ

◆◆脅し文句を

並べたが此婦人餘程膽つ魂が据つて居ると見えて眉毛一つ動かさぬのみか、反對に流暢な露西亞語で啖呵を切つた『妾は日本人ですよ殺つなら殺つて御覧なさい、妾は殺たれても構ひませんが、それでは日本の國旗が承知しませんよ、ソラ此の窓から見ゆるでせう領事館のお屋根が、ソノお屋根の上の日本國旗が……』斯う云つて

◆◆嫣然笑つた

婦人の一言一句には恰かも犯し難き威嚴が籠つて居た、何んと云ふ雄々しい態度であらう、堂々たる有髭男子でさへ却々眞似の出來ぬ藝當であるがコレには流石に獰惡な强盜團も氣を呑まれたものか遂に一物をも得ずして逃げ去つたと云ふ、此婦人、浦鹽の邦人間では「お慶さん〳〵」で通つて居る程の名物女『成程お慶さんなら此位の事は遣るだらう』とツエルサリの一件は目下

◆◆浦鹽の一つ

話しになつて居るがソレにしてもお慶さんとは一體什麼女であらうコレは誰しも直ぐ考へ付く事に違ひない、記者は斯う思ふと同時に其お慶さんに會つて見る氣になり馬車を驅つてツエルサリ、ホテルを訪うたホテルは浦鹽の銀座通りスウエトランスカヤ街に在る宏壯華麗な建物である、生憎タッタ

◆◆今外出した

とやらで肝腎の本人に會へなかつたのは殘念だが、折角此處まで來たものを素手で歸るのも馬鹿〳〵しいと思つたので部屋付きのボーイに若干の「留」を掴ませてお慶さんの輪廓だけでも聞く事にした、ボーイが嬉手し作ら語る處に依るとお慶さんは當年正に二十六だが若いのでまだ漸つと二十位にしか見えない、敷島切つての金滿家で

◆◆沿黑龍州に

廣大な漁區を持つて居るパラコーフ氏の妻君である、P氏はもう六十に近いお爺さん始めは露都に居住して居たが其中に革命騒ぎが起つた爲め此浦鹽に避難して來たので以來夫婦共ホテルに宿つて居る、金に厭ひがないからとは云へ露族も及ばぬ豪奢な生活振りでお慶さんの身の周圍など飾る寶石を極めたもの、兩の耳飾りと腕飾だけでも十萬圓からの價値があるし一寸外出するにも一萬圓からする立派な

◆◆毛皮外套を

著込むと云ふ有樣ださうな若し人生の幸福が錦衣美食『榮華』の二字に在るとすればお慶さんも亦まことに幸福な女と言はねばなるまい（西村生）

◎交換手が
▽――減つて行く　ドシ〳〵減る

それは加入者がガミ〳〵怒りつけるからだ

京城郵便局では電話交換手を募集して居るが近來應募者が尠く稍もすれば缺員が惡くなつたとて當局は頻りに弱つて居る曰く『二三年前までは交換手にも女學校の卒業生なぞがあつて學力と言ひ

◆◆年輩と 言ひ立派なものが揃つて居たが近頃の應募者は學歷と言てもやつと小學校を卒へた位の者が多く年齡も滿十三歲から十四五歲の若い娘ばかり、年々下落して行くのは遺憾だ、此が原因は各會社銀行官衙などの方面で優遇するからで最近は貰つて食つて

◆◆十圓位 までは支給するさうであるから堅劇な仕事をして三四十錢の日給では馬鹿々々しくなるのも無理はない其他內地の好景氣に吊られて年頃の婦人が內地に轉住したり結婚のために歸鄕する者なども多い結果でもあらうが主なる原因は電話の使用者が

◆◆奴隷に 對するが如き態度をもつて罵倒をするため氣の弱い女の事とて執務に堪へなくなつて罷て了ふ折角交換手にならうとしても永續的に一種の賤しい職業のやうに考へて斷念する自覺社會が惡いため優良な交換手を求める事が出來ないといふやうな狀態である、近頃交換手に對する

◆苦情が 多くなつた模樣であるが右の次第でだん〳〵善い交換手は去り補充は六ヶ敷なつて來る爲で此分で行くと京城も數年ならずして東京大阪のやうになりはせぬかと心配に堪へぬ

◎喇嘛僧一行の下關見物
官民の歡迎

內地觀光の蒙古喇嘛僧一行は四日午前關釜連絡船にて下關上陸濱吉樓に入り少憩下關佛敎同盟會の歡迎を受け同市法敎寺の寶物を觀察し正午より稻荷町鎭海樓にて有志の大歡迎會あり市長初め官民宗敎家新聞記者等多數の出席あり盛會を極めたり猶樓上よりは關門海峽の風光を一眸の下に收め得る事とて一同大喜びにて官民の厚意を感謝し居れり（下の關にて特派員）

◎亂暴漁夫
仲間三名を海中に突落とす

大阪府生れ七野香吉(三二)大分縣生れ姫野惣太郎(三〇)廣島縣生れ神原荒太郎(三九)和歌山縣生れ大川辰造(四六)四名は一團となり本年三月五日午前九時頃慶北迎日郡峰山面牟浦里沖合約一里半の海上にてダイナマイトを使用し鯖を採捕す住所不定の鮮人漁夫尹鶴伊(四〇)崔小述(三七)金道之(二四)の三名が漁船に乘じ他の僚船四五隻と鯖を拾得せんものと現場に接近したるに前記四名の不正漁業者等は之を憤り風力を利用し亂暴にも尹鶴伊等の漁船目蒐けて突進し遂に該船を突破して尹鶴伊等三名を海中に溺れしめ被害者が辛じて加害者の漁船に泳ぎつくや棍棒にて亂打し重傷を負はせて逃亡せり

京龍情死史（十七）

美人殺し
春奬忠壇を彩る血潮の燦

生活難の苦惱に堪へ兼ねて

厚維を有力な嫌疑者として留置する一方に於て官警察署長は大森警部以下多數の刑事を督勵して犯罪捜査に全力を盡した、然るに探査の結果は意外にも厚維一家は貧しい間にも夫婦仲は至つて睦ましかつた、殊に厚維は咸鏡北道清津に住して居た頃鮮運合社に勤めて居たが品行は正しく事務には熟れ模範店員として將來を囑望されて居た被害者ふみも慶尙南道の今井高等女學校を卒業し明治四十二年九月から約四箇年間

◆清津 の小學校に敎鞭を執つて居た事もあり、性質は柔和で貞淑である處から察すると什しても夫婦の間に斯る慘劇が行はれようとは思はれない、ふみは非常な美人である萬一や犯罪の裏面に

◆◆戀愛 問題が潜んでは居るまいかと刑事は一旦迷つたが捜査の手を進めるに隨つて四圍の事情はどうも厚維が眞の下手人らしかつた、取調べは何日續行したが中々首を縊るやうな取調べに最早天命の盡きたと諦めてか厚維は事件發生後半月許りしてから自白した最愛の妻を殺して置きながら自白とはそも如何なる者であつたか、殺人鬼か、詐欺か、狂人か、一切つた厚維は涙ながらに斯う自白した

◆見習看護婦

加町の某婦人科病院に年の頃二十四五歲の見習看護婦が二三日前に採用された衣裳は見窄らしいが何處か犯し難い氣品を有つた美人で、然うした職業の婦人としては適當しくないと言ふので病院の中でも種々な取

◆◆沙汰 があつた、それから五日と經たない或日見習中の者へは月の手當を支給されない許りか看護服も上草履までも自辨せなければならないと言ふ事を聞いて憤然と出て行つたなり再び病院には姿を見せなかつた、口善惡ない看護婦等は此事を聞いて『まあ顏にも似合はぬさもしい女』と云つて

◆◆嘲笑 つたが、此婦人こそ厚維の妻のふみであつた、今年の一月下旬二つになるすゞ子を懷に夫と時雄の四人携へて清津から京城に著いたが、僅か許りの金は忽ち費果した上にすゞ子には三月の中旬頃死別れた、それやこれやで雜貨屋の滯りも出來るし借金も出來て

◆◆葬式 の費用さへ儘鬼の貴道具となり生活難は日毎に激しくなるばかりであるから夫と相談の上、獨身婦の如く裝つて見習看護婦に採用された、然るに當分の間は收入がないと言ふ事を聞くと

◆◆落膽 して力なく〳〵も黃昏つぐる寺の鐘が奬忠壇に寂しい餘韻を傳ふる頃一軒家に歸つた暗い洋燈の下には印刷所の職工になつた時雄と保險の勸誘から戾つて來たばかりの夫の二人が疲れきつた物寂しい顏をしてふみの歸りを迎へた

◎九州醫科大學生
四日夜平壤へ

九州醫科大學生一行は三日南山より昌慶苑及び景德宮を觀四日は於義洞普通學校、中央試驗所、朝鮮銀行等を參觀し同夜九時四十分發列車にて平壤に向け出發せるが五日夜京城通過福岡へ向け歸校の筈

◎五人組の强盜捕はる
鍾路署の捕者

三月三十一日午後九時五十分頃京城公平洞尹秉燮方に拳銃短刀棍棒等の兇器を携へたる五人組の强盜侵入し家人を亂打して二百餘圓の金品を强奪したる事件あり越えて四月三日午後九時四十分頃又も清進洞六十八番地反物商金潤星方に五人組の賊押し入り家人を亂打して金品を捜し居れる內同家の雇人が大聲に救ひを叫びしより驚きて逃亡したる旨急報に接し鍾路警察署にては全員を召集して非常線を張り同時に本町、龍山、京城の各隊署も應援して警戒の網を張り府內の一齊搜索をなしたる結果西大門附近にて鍾路署の手に犯人二名を逮捕し龍山分隊の手に三名を捕へ嚴重取調べしに主魁は黃海道沙里院生れの者にて此奴は黃海道數箇所にて强盜を働きたる上京城に乘り込み前記の通り二箇所を荒したる旨自白せるが餘罪多き見込みにて引續き鍾路署にて取調べ中

◎金剛山中深夜の大格鬪
三隊署協力して水鉛盜掘犯人四十餘名を逮捕す

金剛山九龍淵の溪谷に近來水鉛の盜掘者の多きを探知したる附近關係の高城、淮陽の兩分隊及び通川警察署の三隊署にては三月八日より聯合して九龍淵の捲狩りを開始せり現場に向ひたるは主として憲兵分隊の憲兵なるが何れも變裝して谷間に分け入りしに坑夫等は鑛石の破碎を容易ならしむる爲盛んに焚火し居るを發見せるより直ちに踏み込み深夜大格鬪の末九日午前四時迄に現場附近にて盜掘者及び故買者を合はせ二十七名を逮捕せり一方淮陽分隊にては別の谷間にて七名を捕縛せり通川署は主として密送する間道を扼し故買犯人等十七名を逮捕せり

◎發動機船難破

長崎縣南松浦郡富江村漁業平野其七外二十七名は三月廿一日平野の所有發動機船平野丸（十九噸三九）に乘組み全南濟州島に於て鯛漁に從事すべく富江村を發し途中は無事濟州に到着し大靜港に入り食料品を整へたる上鯛漁業地なる同島衛石面飛揚島へ向ふ途中廿四日午後四時頃俄かに暴風雨に襲はれたれば急ぎ飛揚島へ入港せんとしたる爲め針路を過り飛揚島入口の岩礁の上に乘揚げしかば船員は極力引卸に盡力せしも其效なく船は木葉の如く風浪に飜弄せられ遂に岩角に衝りて粉碎せしかば船員も已むなく碇載せる八隻の傳馬船に分乘して陸地へ避難し目下濟州にて善後策講究中船體の損害八千五百圓漁具二千圓にて沈沒の箇所は淺瀨の事とて引揚の見込みありと

◎岸本氏責付出獄
福岡

……の被告中の……近く全部責付せらる可く大阪の岸本亮太郎氏二日出獄を許さる（福岡特電）

◎春陽丸の損害額
咸南汝

咸南汝海津沖にて三月十五日濃霧の爲め坐礁沈沒したる汽船春陽丸（二百二十四噸）は船體の損害十三萬圓積荷同じく二千六百圓なりと

◎渡船顚覆
慶北聞慶郡虎溪

慶北聞慶郡虎溪面牛老里の道路人夫孔自守外五名は三月二十三日午後三時頃同里の渡船場より小舟にて渡り居る內暴風の爲め河中にて船顚覆して孔自守外三名は溺死せり

◎妙心寺禪堂地鎭祭

長沙洞妙心寺別院內に建立の大典記念禪堂は近日起工の筈なるを以て來る七日午後一時より右敷地に於て地鎭祭を執行し委員長の祈願文、棟梁の燒香、委員の經過報告等あり終つて來賓一同に茶菓を饗する由

◎京龍菓子製造同志會　京龍菓子製造同志會は二十餘名組合にて今回菓子原料の砂糖の騰貴甚だしく已むを得ず目方賣を百二十匁に改正せし由

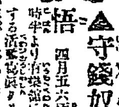
◎女子事務員採用　遞信局貯金管理所にて女子事務員若干名を採用する由に付希望者は履歷書携帶同局に申込むべしと

◎鐵道家族娛樂會　龍山鐵道俱樂部にては二日午後七時より家族娛樂會を開き京山閣玉の浪花節其他落語手品等ある由

◎生花師末廣氏逝く　京城本町花師末廣……氏は病氣中の處藥石效なく昨三日永眠せり氏は大分縣人にして明治三十……

七年來……に從事し目下大日本……の最高職にありしと

◎◎妙心寺接心◎◎　妙心寺別院にては來る五日より九日まで每夜午後七時より十時まで接心會を修行する由



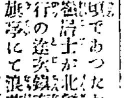
△守錢奴の悔悟

四月五六兩日午後六時半より有樂館に於て開會する活動寫眞クリスマス、カロルは京城靑年會の主催に依つて開催せらるゝものにして其の主旨は冷酷の如き守錢奴が其の罪惡を悔悟し、慈善事業家を助け親族に救はれてクリスマスの前夜、憐れなる淋しき自家の一室に眠りしが三の天の使に顯はれて本人の過去、現在、未來を示し自家の一生の利己の守錢奴にして其の死の間際に於て彼れを憐むものなきを悟り大に反省する所ありクリスマスの朝目覺むると共に一大慈善事業家たるに至りたりと云ふ筋にして現時の物質的文明の弊を表現する中に在つて大に敎訓ある味ふものあるべし、尙此回の外に五郎正宗の正夢を映寫し芽子の意氣を表出して大に崇敬を感ぜしむべし、然も此二大寫眞共に……の紹介により說明さるゝことなれば非常に大なる好評を受くべし

△ハレー出演

大正館にては五日より全部新寫眞を差換ふる筈なるが今回の寫眞の主なるものは東洋活劇四百十三號にして今回は昨年同館に出演して喝采を博したる英國人英國軒ハレーが一週間限り出演して片手変りの奇術、唄、踊等を演ずる由其の他の寫眞左の如し
△官寫ハイチレス山△滑稽チャップリン伯爵全二卷△新派悲劇さんざ時雨全三卷△舊劇荒五郎茂兵衛

◎壽座◎　浪花節……一行は大一座の藝とて非常に好評を博しつゝあり初日二日共六時過ぎに滿員札止となりし由五日よりの藝題は
△京劇挨拶進び二場△通劇モデル劇十三場△舊劇千谷村六助△喜劇……



何時頃であつたか東雲居士が北鮮地方旅行の途次鎭南浦の某旗亭にて浪花節を能くする妙齡十六、七の小妓阿芳に戲に贈るとて一杯機嫌にて詠せし絶句に△『朗々歌成天樂聲。奏候弄玉若爲情。南阿芳草人知否。不負春叢第一名。』と居士の風騷韻懷想ふ可しだ、居士は曾て鎭原の旅亭に於ける靖州出軍と應酬の竹枝の一絶は當時傳唱された事があるが今又此の作がある△京城電氣の木本專務は將棋にかけては頗る天狗で先頃龍山の天狗連と競技會を開いた時鎧袖一觸一蹴一間を撫で斬りにして來るつもりで出掛けたところ△初めての手合せであつたせいか餘り香ばしい成績を得られなかつたので近く東京龍山連を誘き寄せて復讐戰を試むる筈ださうだ△數日前の日曜に朝の汽車で立つ人を見送りに行つた某氏がフト三等車の中を見ると美しい娘さんを連れた紳士が乘客雜沓の中に窮屈さうに立てゐたので誰かと思つて見たらそれが濱邊部等法院長だつた

最新刊

西村眞太郎著　會話精通　定價一圓三十錢　京城日報社代理部　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番

書名	著者	定價
佛像の研究	小野玄妙	一二〇
支那古代史	河田榮久	一五〇
生命の文學	松浦一	一六〇
國民的國家總動員	佐藤鋼次郎	一四〇
日本の獨露の來襲	原田中尉	一三〇
祝賀弔祭式辭答辭挨拶	大日本雄辯研究會	一二〇
刀劍鑑定備考	羽皐隱士	八五
君の眼に見たる太平洋問題	阿部暨治郎	一八〇
生か死か	江部鴨村	一六〇
白樺の森	同人	一五〇
神田乃武外廿五博士審定　英語の學び方		價九十五錢
小資本大資本最新實用の秘訣	吉岡富三郎	八五
發音自在最新和英辭典	後藤特	一三五
英文和譯法	南日恒太郎	八五
和文英譯研究	山崎貞	八五
代數解法	吉本	八五
化學解		六五
國文解釋法	塚本哲三	八〇
漢文解釋法	同	八〇
投入盛花大觀	安達潮花	一八〇

京城本町通六八四　振替京城二五七三　電話二〇八六　大阪屋號

大寫眞と大餘興提供

斯界の名優音羽家松之助大車輪
◎舊劇荒五郎茂兵衛 四卷
橫暴なる旗本を懲らし又勤王の志士と交り江戸に出て自ら俠客となり義兄弟の助太刀をなすと云ふ松之助の十八番劇

日活東京派山本嘉一吾妻猛夫一派出演
◎大正美談さんざ時雨 三卷
某銀行の行金紛失事件か發端となる支店長令嬢の苦心。惡辣なる銀行員。義に富みたる青年。下婢の義俠。惡車夫の悔悟は時雨も晴れて圓滿なる解結

米國ヴイダヴラフ會社特作品
◎泰西活劇四百十三號 三卷

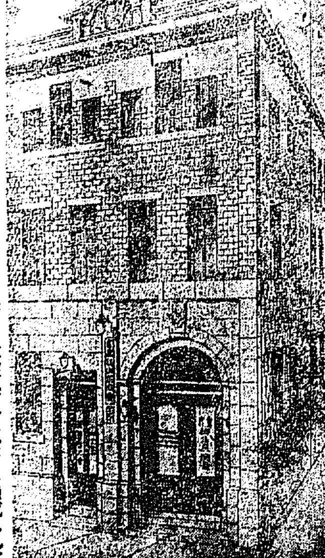
年俸四百萬圓世界一喜劇俳優
◎滑稽活劇チャプリンの伯爵

昨年當館へ出演破天荒の大好評を博したる
◎餘興英國軒ハレー出演
愛嬌者の人氣男今回歸國の途次久々にて立寄り御目見得得意の演藝相演じ申候
◎寫眞長尺につき正午後五時半開館

五日より上場　大正館

合資會社　桐生屋商會
本店　京城本町二丁目……
（キッポマヤイケウト）略號（キフリヌ）又（キ）
株式現物部　信託部　金融部

近刊豫告
株式大學
……商會出版部編纂の本書は株式著者界に於ける權威にして……
全鮮唯一の敎科書、最も安全にて確實なる株式實買法を說く



大阪三越火災につき謹告

今曉當店舊館より火を發し事務室全部燒失致候處早速御見舞を給はり難有奉鳴謝候幸に新館は無事四月一日より平常の通り營業仕候間何卒御用命の程奉冀上候
尙御註文品發送手配中燒失の厄に罹り候ものも可有之候に付三月二十九日以前に御用命の品未着に候はゞ恐縮ながら再度御註文書御差出し被下度又毎月發行の「大阪の三越」引續き御覧に入れ申度奉存候間御住所御氏名御一報被下候樣奉願上候

三月廿九日　大阪高麗橋　三越吳服店

櫻御殿

第百九十二回 關東浪人（四） 大阪 霞の家主人

『夫等御不審の儀もあらうと存ずる、由て速かに清之丞とお突き合せが願ひたい、手前清之丞に一言尋ねたい儀がござる』

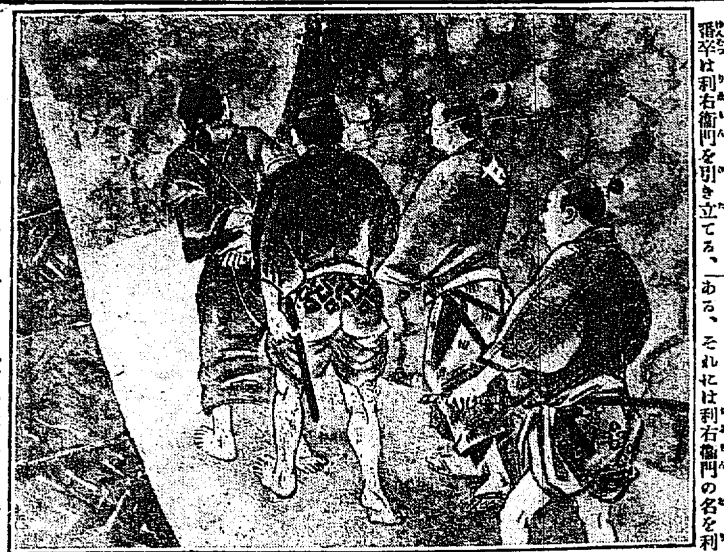
利右衛門は頑強に斯う頼んだ

『さらば待て、一應重役衆へ尋ねて參る』

役人の一人は立つて行つたが、物の半晌近くも經つと、やつと歸つて來て

『罪人の望みを協へ遣はせと仰せられる、早う辰巳の隅櫓へ引立てへ』と指圖をした

番卒は利右衛門を引き立てる、



音に聞こえた廣島の城内を飽くまで見るは、彼に取つて好い冥途の土産であつた、役人は後から從いた

隅櫓の外には屈竟の番人が二人控へて居た、役人はすつと窓の側へ近寄つて

『清之丞、出ませへ』と呼んだ、清之丞の痩せた姿が格窓の中に見ゆる

『其の方の白狀に由つて罪を蒙むつた咎人を召し伴れた、何か申し述べたい事ある氣、早々聞いて遣るが好からう』

清之丞は心に赤い舌を出して、利右衛門を見下した、利右衛門は平氣で見上げる、双方が初對面、されど其處に云ひ知れぬ感情が蟠まる

『これ〳〵』と利右衛門は聲掛けて

『さて〳〵お身は我等恩誼も忘れて怪しからぬことを申すでないか、夜な〳〵食事を運び遣はすことは、如何恩誼を思ふからぢや、それに妹芳野までも深い陥穽へ引き入れようと致すさうぢや、わしは存じの上の事、如何ような罪科を受くるとも恨みには思はぬが、妹に累を及ぼすことだけは怨せ、妹は何も存せぬことぢや』

此の詞が清之丞には意外であつた、お家に掛る黑雲を拂ふのは、お奥の妖雲を拂ふにある、お奥の妖雲を拂ふのは、芳野を城外へ逐ひ出して、奥方の手足を捥ぐにある、それには利右衛門の名を利用して、彼に惡名を付ける外は無いと思つて、心にもない事を云つた、それに思ひ掛けもなく、利右衛門はその罪名を受けて居る、おのれは覺悟の上と云ふた、聊かの恩に報う爲め、進んで罪を犯すと云つた、清之丞には意外である

『これよ、清之丞殿よ、お手前はわしが食事を運んで進ぜるのを、何んの爲めと思召すのぢや、これ皆な初瀨どのに繋がる縁でないか、その初瀨どの、今何ういふ境界に落ちて入るとお思ひなさる、場所は云はぬがこゝから百二三十里も前の或る處で、助左衛門の爲めに付け狙はれ、九死一生の病氣の身を刄の下に置いて居られる、わしはそれが救ひたい、助左衛門に恨みはない、貴殿に對する一言の意地が貫きたさに、白刄を拔いて向ひかけるのぢや、相手は高が女、可憐うはないか、貴殿の口一つで助左衛門の意地は解ける、意地さへ解けたら、初瀨どのを斬らうと云はぬ、手前が貴殿に食事を運んで、揚句の果に此ような身となつたは、貴殿の口から初瀨殿の意地を解くと、一言云うて貰ひたいためばかりぢや、わしはこゝに罪を負うて、刑罰に遭ふを恨みはせぬ、初瀨どのが救ひたい、助左衛門の白刄が收めさせたい、同時に妹の明りも立てゝ遣りたい、役人のござる前で有樣を云うてたまはれ、すれば手前は歡んで目を瞑る』

利右衛門は一片の義に由つて、初瀨が助けたいと思ふ、その詞を清之丞は惡く取つた

『果せるかな同類ぢや、初瀨を救すのは奥方の手を捥ぐのぢや、それが彼等には忍び得られまい、身を殺しても芳野初瀨を助けたいと云ふ利右衛門も果して曲者、無慈悲には似たれど、やつぱり俘れて行かねばならない』

清之丞は斯う思ふ、利右衛門の苦辛は水の泡になる外無かつた

院長 醫學士 森定吉
（美容醫院改め）
森病院 内科 小兒科 入院隨意
京城明治町二丁目七五舊田醫院跡 電話二六二三番

春燈吟

其の十五（大正七、三、三〇）

春の夜

春の夜や柱杜の句繪冊 北霜
雨となりし提灯借りぬ春の夜 青光雨
春の夜の書く事多し机かな 水子
春の夜の穴に垣する街路かな 韮城
雜然と卓にある書や夜半の春 笛木
春の夜や會ふべき人に紹介狀 橙黄子

田打

畑を打つ人に花白し裏戸かな 田打夫
耕人の渇にありけり水一壺 同
町迫り來し畑々を打ちにけり 俚人
田打人に陽落ちし島の暗さかな 同
畑打よそ〳〵しき夫婦かな 北霜
耕人に寶盡靜けき一寺かな 同
耕人の獨りありけり山畑 迦南
土瓶の火消えては忘れ田打人 草緑
田を打つや砕けし土に蜘走る 水子
耕馬嘶いて杜の日高し霧の中 橙黄子

西洋料理 すき燒
おいしい京城第一との高評を博し居り候
南大門通 電話二五七一番 カフエータイガー

湖南吟社句會

大田一七、三、三一【於鐵軒】

有線の山城吟社員が何時も素晴しい鳴の潮しさに久しく詩友を迎へざりし矢先在滿州ホトトギス派の新鋭未知の友田中菊坡君の來田を機とし歡迎句會を開く時斷雨日に拘はらず機に應じて集まる者十名、飯よりも俳句が好きな男ばかり運座二回夜に入りて興猶ほ盡きず十時散會す

○春の山

人に馬を勸むる宿や春の山 菊坡
芝高く牛皆下る春の山 同
春の山鐘鳴るも雨の京 青兒
春の山中に蟲る里ありて 十字亭
春山や新嫁女の結び紙 不倒
春の山清水岩にも名のり對 紅居
山買うて急坂拓く春二旬 桃雨
彼岸寺の火ともに似たり春の山 菱松
王城を護る太山の笑ひけり 風香

○汐干

汐干人の左右に遁き蟹かな 菊坡
汐干人に低う飛んで鴎又下りぬ 同
汐干潟汐滿ちて月さなる散歟 十月
磯の蟹に手洗ふ汐干狩 汐波

○花

沖岩に目印つけて汐干狩 紅風
汐干潟島より島へ白い鳥 青甲
老ほれて海苔に葬る汐干哉 桃雨
汐干夕へ波打際の折の殼 後林
汐に傾す鯨島や汐干狩 風竹

花に三日早や閉ぢし店の長雨哉 菊坡
八士の女寂寞や櫻時 不倒
丹を出でゝ寺局村や夕さくら 十字亭
花盗人師に吊せし句短冊 俵兒
汐風に花散る須磨の若葉哉 青蘭
盛茶啜る初花の頃風邪引きし 桃波
横文字の制札に立てゝ花の人 月音
かくて世を捌れても花の花衣 風

□春の錢湯 よし二

透硝子の窓來る陽の快く湯の湯煙にほのに溶ける
われなこめてうすらに昇る湯氣ねちに疾せし身體を汝らかに見る
もう〳〵と湯氣にこもりて靜まれば人來るべからずあはれこのまゝ
ぼた〳〵と昏のふちより水滴り湯の面に落つる音はよろしも

□ 京城 路代

やゝに溫み水神のみづの光る陽のこの野末より春は來るらし
漆の灯よ燈る小雨よ格子戸にお染に似たりよき女のよれる
覗むまでおくりし君のきのふけふ窓邊に來なく春となりけり

新刊紹介（到著順）

▲大田發展誌（田中麗水著）南大田の案内記にして上林道長官之を題して曰く『叙事精細統計明確、大田の現勢歷々として之を掌に指すが如し』と蓋し此著なし己れを知るの用たらしめば則ち利鈍を察するの寶典たるべし』と著者は大田有力家にして此の地方の事情に精通せる人なり、從て此の大田市街圖を添附しあれば一見して大田の現狀を悉し得べく視察者に取りては無二の好資料たらん（一圓 忠南大田本町二丁目田中市之助氏發行）

▲教育時論（一一八六）十錢、東京飯田町四國社

▲流行世界（一ノ一）二十五錢、東京田表猿樂町二國粹社

▲新聞學及文章講義（第二號）一本拾錢 士の新聞記者たらんとする青年に與ふ、安部磯雄氏の新聞改良法如何、海外新聞研究欄には小野瀨不二人氏の米國新聞事情、大庭柯公氏の露國新聞紙等の外諸數數十の寫眞版は世界各國の珍奇なるものを蒐集し雜錄には世界の聖雄者ノースクリッフ卿の評傳を始め琢數論其他百家觀談叢等（合劵一ヶ月正料九十錢、東京丸の内有樂町一の三大日本新聞學會）

結者の領分

▲宮美術家の久子様十日ばかり前の晩夜が眠むさうに眼をこすつてゐる頃千代本から車でお飛ばしになりました、あの夜仁川の○○さんさすホヽヽヽ泌した顔を見ると妾もうオホヽヽヽ（仲居）▲旭町の京駒のガン六は無暗に吠わついて通行人は非常に困る今度吼わつくさ尻を捲つて逃駈けるぞ二度目に吼わたら河の中に投げ込むぞそれでも吠わるとストリキニーネを御馳走するぞ、飼主は注意せぬと通い人から恨まれるぞ（犬嫌ひ）▲姉様や兄様の愛に抱かれて居るけれ共其の心は落付かず、空しき日を送つて居る、考へて見るとテイ様がうらめしい其後僕は希望をすてゝ貯への全部で人の愛を貰つて歩いて居る、自分で自分の心がわからない、頭の中が麻痺になつて居るのだらう、嘘でもよい金櫃で僕の頭をなぐつてくれ、さうしたら亦正に歸へるかも知れない、其時にはテイ様の前で何事かを叫けんでやらう然しテイ様忘れんでもよい（昭和の一青年）▲汗浦の某所揚屋さん湯屋で男女混浴は恐れ入ります（二助）▲南大門外の米石炭店の働き盛々たる店員でも主人の注意が足りないさ見ゑて店員等が真面目でない注文を受ける時は頭を三四十度位下げるが、そでなければ、鼻で挨拶をする始末、御得意の全部の斷を聞いてしまつて穿し込つて掛けた位なら罵詈惡口、甚だしくなると返答をしてある注意しないと得意先が減る（愛憐生）

呼吸器散
呼吸器丸
本劑の特長
本劑は最新高貴藥を配伍せる祛痰鎭咳の特効藥にして如何に重き患者にても服用せばタンを拂りセキを鎭め胸苦きを和らげ夜分安眠の効を奏す。先づ一週分試みよ
かゝる時に偉効あり
■息苦しく胸痛む時
■咳出で夜眠られぬ時
■たんに血の混る時
■聲涸れ出でざる時
■のんど腫れ痛む時
■たんせき切れ難き時
價十錢 二十錢 四十五錢
全國到る處の藥店にあり
本舖 大阪心齋橋 東京箔屋町 丹平商會藥房

りん病七日藥
麻除 麻除はいやでも治る奇藥也
◎慢性麻病◎急性麻病◎女子淋病◎膀胱加答兒◎睾丸炎◎尿道狹搾
七日分只一回服用せよ 說明書進呈す
大阪堺筋八幡筋北 山口藥院

アザそばかす なまづホクロ入墨イボ
等の爲め困難の人はハガキにて申込あれ學理實驗共に其効力確實にして他に類なき化學應用劑を懇切に通知す
東京市向島小梅町 平澤藥院

生活上缺く事の出來ぬ 織物が安く買へる
流行にて優良格安品提供
總ての織物は織元より仲繼、問屋、小賣と幾多の手を經て需要者の手に入るので其間多額の口錢を食られるので安い物でも高く買樣になる本店は此の手數を省き織元と直接取引すれば從て時の流行品を最格安に一反でも御求めに應ぜられる特徴あり本店が確實得意本位なるは購入者が再三追注文し來るを見ても明かで他の一時的通信販賣者と混同する勿れ
特價提供 各二千反
大正セル 特價二圓八十錢均一
英セル 特價四圓二十錢均一
本セル 高價品代用極上好評 特價三圓八十錢均一
銘仙 節糸織 特價三圓八十錢均一
高貴織 特價六圓五十錢均一
同 縮緬
◎注文には男女別年齡記入申込めば熟練店員柄合選定即時代金引換にて送る若し品物意に叶はぬ時は交換又は返金何れ共實を負ふ
東京神田 東京織物仲繼店

下關期米 四日前場
大阪期米 四日後場
にて當限二十二圓廿錢中〆九錢先九錢十錢二錢一錢二錢平均値段十〆七錢と七錢安に寄付六錢こ辷り後三節十一錢二錢平均値段十三大阪跡高移りに十四錢を上伸し三節十五錢圓節十六錢八錢九錢二
四日の六月限 後場寄付 二十二圓二十八錢

子宮病血の道とリウマチスに惱む人は

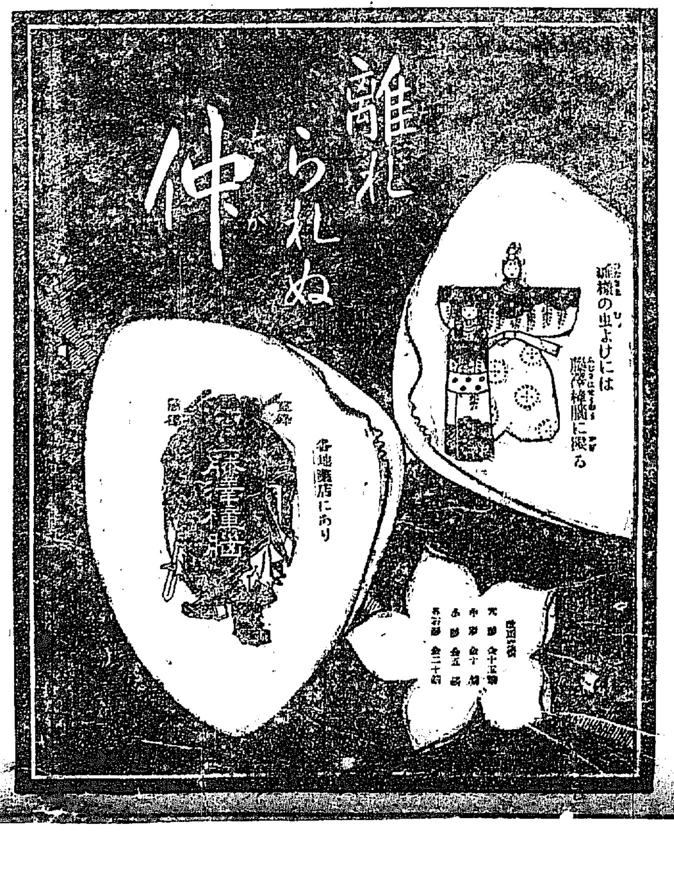
彼れ是と迷ふ事無く
眞に能く効く
神仙湯を

即刻試みよ現に……
◎烈しき神經痛で惱みし人
◎頑難治のリウマチスの人
◎數年固疾の痛氣で苦しみ人
◎百法効なき子宮病の婦人
◎常に悲しむ血の道の婦人
◎多年惱みのヒステリーの人
◎不治の慢性胃腸らめし人
なども此良藥神仙湯の連服で漸次快方に赴き遂にはスッカリ快癒し嬉さの餘り感謝狀（本社一般の閲覽に供す）を寄らるゝ實例も尠からず不幸にも是等の病に惱む人あらば症と難症の論なく即刻試よ神仙湯は家方の良藥にて今や全國各藥店に有り

◎こんな徴候の人
腰、腹、手、足、肩、脊、臀、膝、腕、眼等つり、痛み、しびれ又は筋骨痛む◎彼處此處と移動し◎何となく怠く◎腹張差込◎腹なり胸つかえ◎飲食進まず又は進過ぎ◎便秘又は下痢◎寒氣◎逆上◎血眼◎目暈◎耳鳴◎頭痛◎齒痛◎頭重く肩凝◎腹に力なく◎腰足冷へ◎夜眠られず◎根氣薄らぎ記憶あしく◎氣鬱◎癇高ぶり◎物事に感じ易く◎顔手足の浮腫等痛氣、リウマチス、神經痛と胃腸及子宮病、血の道より起る諸患に惱む人は片時も早く神仙湯を試みよ

藥價 一週間分一圓二十錢 ◎二週間分二圓五十錢 ◎一ヶ月分四圓五十錢 ◎二日分二十錢 試用
名古屋市東區京町二丁目
本舖 荒川長太郎
電話 長者町二四三番 東京二二九五番

金牌賞牌廿四個受領
なるほど 美味である と 滋養がある
賞讃されつゝある
蜂印香竄葡萄酒
よく味つて見て下さい
必ず他品の眞似のできぬ美味と滋養が見出され升
毎食前一杯づゝで元氣健康を增進す
蜂印香竄葡萄酒は純良葡萄酒を基とし補血强壯料を主成分として精製せる醫藥品なり 到る處の藥店酒店にあり
東京本町 近藤利兵衛



寫眞 寫眞銅版、亜鉛版 寫眞出張撮影
迅速と丁寧と精巧なる技術を以て最も低廉に御需めに應ず
京城日報社 寫眞製版部

大正七年申第四七七號

公示催告

京城府永樂町二丁目二十四番地
申立人 吉田九助

一、商品物引換券 第一〇五號 壹通
但 …

右證券ニ付申立人ヨリ其ノ公示催告ノ申立アリタルニ依リ其ノ證券ノ持人ハ大正七年十月二十二日午前九時迄ニ當院ニ其ノ權利ヲ届出テ且證券ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ届出ヲ爲サヽルトキハ證券ノ無効ヲ宣言スヘシ

大正七年四月二日

京城地方法院

質 大塚質店
京城明治町二丁目元階町 電話一八四九
◎職業に從ひ火災の豫防に遺憾なき完全の倉庫あり
◎多額の融通も御便宜を圖る

男の生殖器病
專賣特許 眞空療法器を自宅で簡單秘密に使用せば生殖器の發育不完全、包莖、早漏、陰萎、遺精、腦神經衰弱、痲林病等は容易に治す二大醫學博士も其實効を證明し實驗諸氏の感謝状が如しハガキで申込あれ非賣品圖入說明書を無代封送す
▲來所者には說明す
東京神田かぢ町五 電話神田七二二番
眞空療法研究所

一粒で効能で賣れる
胎毒を下げ便通をよくし其他諸毒をくだす
ひとまもり

外科花柳病 内科婦人病 入院隨意
醫學士 齋藤勇
醫士 齋藤豐次
京城本町五丁目稻荷座前 電話二〇一二番
大和病院